

VOICELIVE Touch 2

レファンレンス・マニュアル

目次

このマニュアルについて	1
Mix - ミックス・メニュー	3
FX MIX - エフェクト・ミックス・ページ	4
GUITAR - ギター・パラメーター	4
AUX - AUX パラメーター	4
ROOMSENSE パラメーター	4
HARMONY パラメーター	4
DELAY/REVERB - デレイ／リバーブ・パラメーター	4
LOOPS - ループ・パラメーター	4
LOOPS パラメーターのクリエイティブな使い方	4
OUTPUT MIX - アウトプット・ミックス・ページ	5
USB IN - USB イン・パラメーター	5
USB OUT - USB アウト・パラメーター	5
HEADPHONE - ヘッドフォン・パラメーター	5
ANALOG OUT - アナログ・アウト・パラメーター	5
STORE - ストア・メニュー	6

EDIT - エディット・メニュー	7
チャプター概要	8
プリセットの構造	8
エディットの基本操作	8
EDIT メニューへの移動方法	8
メインとアドバンス・エディット・ページ	9
マトリクスを使ったエディット・パラメーターの選択	9
エフェクト・スタイルについて	10
レベルについて	10
エフェクト・パラメーターのリンク／アンリンク	10
DRY LEVEL - ドライ・レベル	10
MOD - モジュレーション・エフェクト	11
MOD メイン・エディット・ページ	11
MOD アドバンス・エディット・ページ	11
DELAY - デレイ・エフェクト	12
DELAY メイン・エディット・ページ	12
DELAY アドバンス・エディット・ページ	12
REVERB - リバーブ・エフェクト	14

REVERB メイン・エディット・ページ	14
REVERB アドバンス・エディット・ページ	14
HARMONY - ハーモニー・エフェクト	15
HARMONY メイン・エディット・ページ	15
HARMONY アドバンス・エディット・ページ	16
スケール音程表	16
VOICES - ヴォイス・メニュー	17
VOICE EDIT - ヴォイス・エディット・ページ (1/9 ~ 9/9)	18
Naturalplay / Scale / Shift / Notes ハーモニー	19
CHOIR - クワイヤー (合唱団) エフェクト	21
CHOIR メイン・エディット・ページ	21
DOUBLE - ダブリング・エフェクト	22
DOUBLE メイン・エディット・ページ	22
DOUBLE アドバンス・エディット・ページ	22
TRANSDUCER - トランスデューサー・エフェクト	23
フィードバックについて	23
TRANSDUCER メイン・エディット・ページ	23
TRANSDUCER アドバンス・エディット・ページ	24
RHYTHM - リズム・エフェクト	25
RHYTHM メイン・エディット・ページ	25
RHYTHM アドバンス・エディット・ページ	26
HARDTUNE - ハードチューン・エフェクト	27

HARDTUNE エフェクト・エディット・ページ	27
HIT ボタンのエフェクト割り当て	29
エフェクト・モードにおける HIT エフェクトのアサイン	30
CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン	30

スライダー FX 31

CHAPTER 概要	32
GENDER WARP - ジェンダー・ワープ・エフェクト	32
DELAY FEEDBACK - デレイ・フィードバック・エフェクト	32
HARMONY HOLD - ハーモニーホールド・エフェクト	32
DUAL FILTER - デュアル・フィルター・エフェクト	32
HARMONY BEND - ハーモニー・ベンド・エフェクト	33
SHIFT WIDE - シフト・ワイド・エフェクト	33
SHIFT NARROW - シフト・ナロー・エフェクト	33
RHYTHM DIV - リズム分割エフェクト	33
STUTTER DEPTH - スタッター・デプス・エフェクト	33
STUTTER - スタッター・エフェクト	34
HMNY RHYTHM - ハーモニー・リズム・エフェクト	34
スライダー FX バー・アクション	34

Loop - ループ・メニュー	35
ループ概要	36
Loop Assist - ループ・アシスト	36
LOOP - ループ・メニュー・ページ	37
LOOP LAYERS - ループ・レイヤー・ページ	37
LOOP TOOLS - ループ・ツール・ページ	38
基本ループの作成	38
ループの再生と停止	39
ERASE - ループのイレース (消去)	39
ループ消去についての追加情報	39
OVERDUB - オーバーダブ	40
オーバーダブについての追加情報	40
UNDO - アンドゥ	41
アンドゥ可能な操作	41
アンドゥ/リドゥの操作手順	41
アンドゥ機能の制限事項	41
2x ループ拡張機能	42
2x ループ拡張機能についての追加情報	42
REVERSE - リバース	42
CLEAR - クリア	43
METRONOME - メトロノーム	43

OFF - メトロノーム・オフ・セッティング	43
ON - メトロノーム・オン・セッティング	44
SHH - 無音メトロノーム・セッティング	44
メトロノームの他のパラメーター	44
メトロノームを使ったループの録音	44
メトロノームの使用についての追加情報	45
マルチトラック・ループの録音	45
最初のマルチトラック・ループの録音	45
MUTE - ループ・レイヤーのミュート	47
ループの MUTE と SELECT の併用	47
ミュートされたループ・レイヤーへの録音	47
SELECT モードでのループのミュート	47
ループの MIDI クロック同期	48
SHOTS - ショット・モード：ループのトリガー再生	49
SHOTS モードと再生	49
LOOP FX - ループ・エフェクト	50
LOOP FX 概要	50
LOOP FX の基本的な操作手順	50
LOOP FX の変更	50
LOOP FX 解説	50
LOOP FX 活用法	50
RE-SYNC - 再同期	52

MIXDOWN - レイヤーのミックスダウン	52	MOD LEVEL - モジュールーション・レベル・パラメーター	61
SETUP - セットアップ・メニュー	53	COMPRESSOR RATIO -	
SETUP メニュー概要	54	コンプレッサー・レシオ・パラメーター	61
INPUT - インプット・ページ	54	COMPRESSOR THRESHOLD -	
INPUT - インプット・パラメーター	54	コンプレッサー・スレッシュホールド・パラメーター	62
ROOMSENSE パラメーター	55	アコースティックギターのコンプレッションについて	62
GUITAR - ギター・パラメーター	56	GUITAR - ギター・ページ (2)	63
MIC CONTROL パラメーター	56	HIGH FREQUENCY - ハイ周波数パラメーター	63
TONE STYLE - トーン・スタイル・パラメーター	57	HIGH GAIN - ハイ・ゲイン・パラメーター	63
PITCH COR AMT - ピッチ補正適用量	58	MID FREQUENCY - ミッド周波数パラメーター	63
OUTPUT - アウトプット・ページ	59	MID GAIN - ミッド・ゲイン・パラメーター	63
OUTPUT - アウトプット・パラメーター	59	LOW FREQUENCY - ロー周波数パラメーター	63
VOCAL CANCEL - ヴォーカル・キャンセル機能	59	LOW GAIN - ロー・ゲイン・パラメーター	63
LEAD MUTE - リード・ミュート・パラメーター	59	LOOP - ループ・ページ	64
HEADPHONE LIMITER - ヘッドフォン・リミッター	59	INPUT - インプット・パラメーター	64
LEAD DELAY - リード・ディレイ・パラメーター	60	FILTER RESONANCE -	
GUITAR - ギター・ページ (1)	61	フィルター・レゾナンス・パラメーター	64
REVERB STYLE - リバース・スタイル・パラメーター	61	UNDO - アンドゥ・パラメーター	64
REVERB LEVEL - リバース・レベル・パラメーター	61	LOOP FEEDBACK - ループ・フィードバック・パラメーター	64
MOD STYLE - モジュールーション・スタイル・パラメーター	61	MIDI CONTROL - MIDI コントロール・パラメーター	65
		QUEUED MODE - キュー・モード・パラメーター	65
		METRONOME - メトロノーム・ページ	66

ROUTING - ルーティング・パラメーター	66
MIDI TEMPO - MIDI テンポ・パラメーター	66
SOUND - サウンド・パラメーター	66
LEVEL - レベル・パラメーター	66
MIDI ページ (1)	67
MIDI CHANNEL - MIDI チャンネル・パラメーター	67
FILTER - フィルター・パラメーター	67
CC CHANNEL - CC チャンネル・パラメーター	67
TRANSPOSE - トランスポーズ・パラメーター	67
SPLITDIR - スプリット方向パラメーター	67
SPLIT NOTE - スプリット・ノート・パラメーター	67
MIDI ページ (2)	68
SYSEX ID - システムエクスクルーシブ ID パラメーター	68
PB RANGE - ピッチベンド・レンジ・パラメーター	68
MIDI CTRL - MIDI コントロール・パラメーター	68
SWITCH-3 ページ	69
SWITCH-3 フットスイッチ割り当てのカスタマイズ手順	69
CONTROL - コントロール・パラメーター	69
SWITCH 1/2/3 - スイッチ 1/2/3 パラメーター	70
SYSTEM - システム・ページ	73
LCD CONTRAST - LCD コントラスト・パラメーター	73
MIC BOOST - マイク・ブースト・パラメーター	73
GLOBAL KEY - グローバル・キー・パラメーター	73

TUNE REFERENCE - 基準ピッチ	73
AUX IN TYPE - AUX イン・タイプ	73
GLOBAL TEMPO - グローバル・テンポ・パラメーター	74
PRODUCT INFO - 製品情報	75
本体の初期化	75

MIDI インプレメンテーション 76

プリセット・リスト 80

スタイル・リスト 86

MOD スタイル	87
DELAY スタイル	87
REVERB スタイル	88
HARMONY スタイル	88
DOUBLING スタイル	89
HARDTUNE スタイル	89
TRANSDUCER スタイル	90
DELAY FILTER スタイル	90

サポート 91

このマニュアルについて

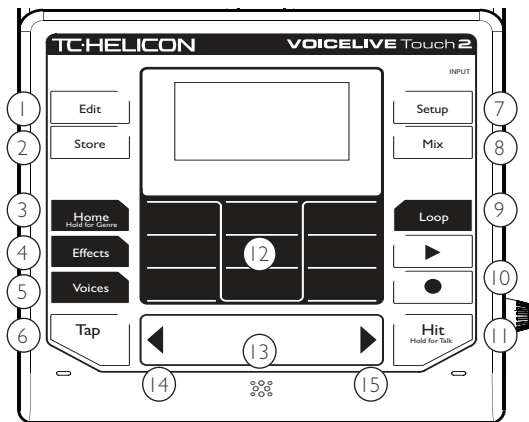
この文書は、VoiceLive Touch 2(ファームウェア・バージョン 1.0.01 build 35) に対応したレファレンス・マニュアルのバージョン 1.2 です。

このマニュアルは、VoiceLive Touch 2 クイックガイドを補足する内容となっておりますので、本マニュアルの前にクイックガイドをお読みいただくことを推奨いたします。

本レファレンス・マニュアルに含まれる情報を有効に活用するには、VoiceLive Touch 2 の基本操作に慣れ親しんでいることが前提となります。基本的な操作方法については、クイックガイドをご参照ください。

この書類はスクリーン上での閲覧に最適化されています。製品についてご質問等ございましたら、TC-Helicon サポートまでご連絡ください。

<http://support.tc-helicon.com/home>



1. EDIT - エディット・ボタン
2. STORE - ストア・ボタン
3. HOME (Hold for Genre) - ホーム (ホールドでジャンル) ボタン
4. EFFECTS - エフェクト・ボタン
5. VOICES - ボイス・ボタン
6. TAP - タップ・ボタン
7. SETUP - セットアップ・ボタン
8. MIX - ミックス・ボタン
9. LOOP - ループ・ボタン
10. 再生/録音ボタン (ループ・トランスポート・コントロール)
11. HIT (Hold for Talk) - ヒット (ホールドでトーク) ボタン
12. ボタン・マトリクス (9 ボタン構成)
13. スライダー FX バー
14. 矢印ボタン

MIX - ミックス・メニュー

VoiceLive Touch 2 レファレンス・マニュアルの本チャプターでは、MIX メニューを解説いたします。このメニューから、インプット／エフェクト／アウトプットのレベル設定を行えます。

次の2ページにまたがって、各種インプットと生成されるエフェクトのグローバル・ミックスをコントロールするためのフェーダーが用意されています：

- FX MIX (エフェクト・ミックス) ページ
- OUTPUT MIX (アウトプット・ミックス) ページ

MIX ページを切り替えるには、MIX ボタンをタップするか、スライダー FX パーの矢印ボタンを使用します。

ミックス・レベルに割り当てられているマトリクス・ボタンをタップすると、ミックス・レベルの設定値が一時的に表示されます。

FX MIX - エフェクト・ミックス・ページ

GUITAR - ギター・パラメーター

ギター信号とギター・エフェクトのレベルを設定します。

AUX - AUX パラメーター

AUX 入力信号のレベルを設定します。

ROOMSENSE パラメーター

Roomsense マイクのレベルを設定します（ヘッドフォンのみ）。Setup メニューの ROOMSENSE パラメーターが Voice（ボイス）に設定されていると、この選択肢は無効となります。

HARMONY パラメーター

ハーモニーとダプリング・エフェクトのグローバル・ミックス・レベルをトリムします。ファクトリー・プリセットでは 0 dB に設定されています。6 dB までのゲインを与えられます。

DELAY/REVERB - ディレイ／リバース・パラメーター

ディレイとリバース・エフェクトのグローバル・ミックス・レベルをトリムします。ファクトリー・プリセットでは 0 dB に設定されています。6 dB までのゲインを与えられます。

LOOPS - ループ・パラメーター

ループの再生レベルを設定します。このパラメーターを 0 dB 以下に設定すると、初回録音時の音量がループ再生よりも高くなります。この動作が好ましいかどうかは、用途によって異なります。

LOOPS パラメーターのクリエイティブな使い方

FX MIX ページの LOOPS パラメーターは、ループ再生をフェードアウトさせる用途にも使用できます。LOOPS パラメーターが選択されている状態でスライダ FX バー上に指を左方向にスライドさせ、指を離します。適切な速度でスライド動作を行うと、レベルが下がり続けます。ループ再生のフェードインも同様に行えます。

OUTPUT MIX - アウトプット・ミックス・ページ

USB IN - USB イン・パラメーター

USB コネクターを経由してコンピューターから入力される音声信号のミックス・レベルを設定します。

USB OUT - USB アウト・パラメーター

USB を経由してコンピューターに送られるメイン・ミックスの出力レベルを設定します。

HEADPHONE - ヘッドフォン・パラメーター

ヘッドフォンのボリュームをコントロールします。ANALOG OUT とは独立した設定が可能です。

ANALOG OUT - アナログ・アウト・パラメーター

XLR 及び TRS の L/R アウトプットのメイン出力レベルを設定します。正しいインプット・ゲインで ANALOG OUT を 0 dB に設定すると、マイクとアウトプット・レベルが概ね揃います。必要に応じて、10 dB のゲインを与えることができます。フィードバック防止の観点から、上げ過ぎにはご注意ください。

STORE - ストア・メニュー

エディットしたプリセットの設定は、名称を与えて保存することができます。SETUP と MIX ページのパラメーターはストアする必要はありません。



1. STORE TO: 保存先のプリセット番号選択
2. DELETE: 選択されている文字の消去
3. LETTER: カーソル位置にある文字の選択
4. INSERT: カーソル位置に空の文字を挿入

DELETE / LETTER / INSERT のいずれかを選択した後、スライダー FX バーの矢印ボタンでカーソル位置を指定できます。

EDIT - エディット・メニュー

VoiceLive Touch 2 レファレンス・マニュアルの本チャプターでは、VoiceLive Touch 2 の9つのエフェクト・ブロック、エディット画面、そして全エフェクト・パラメーターを解説します。

CHAPTER 概要

VoiceLive Touch 2のプリセット・エフェクトに変更を加える操作を「エディット」と呼びます。EDIT メニューからエディット操作を行います。

プリセットの構造

各プリセットの構成は次の通りです。

- 9つの異なるヴォーカル・エフェクト
- スライダー FX バーの機能割り当て

プリセットに対して、次の操作を行えます。

- プリセット内で各エフェクトのオン/オフを行うことができます。
- 設定をエディットすることができます。
- 300のプリセット領域のいずれかに、設定を保存することができます。

マトリックス・ディスプレイに表示されているエフェクトに対する同時使用できる数の上限はありません。

エディットの基本操作

EDIT メニューへの移動方法

一つのメニュー内に全てのエフェクト・ページがまとめられています。EDIT メニューは、二つの方法でアクセスできます。

1. EDIT ボタンをタップして、矢印ボタンで左右にスクロールしながら目的のエフェクトのエディット・ページに移動します。

EDIT ボタンをタップすると、前回最後に使用したエディット・ページに移動します。

2. 特定のエフェクトのエディット・ページに直接移動するには、目的のエフェクトのマトリクス・ボタンを一度タップして、次にホールド（長押し）します。例:MOD EDIT ページにアクセスするには、左上のマトリクス・ボタンをタップ/ホールドします。

この操作を行う場合、エディット・メニューが表示される前に、初回タップした段階でエフェクトのオン/オフが一時的に切り替わります。音が途切れるのを避けるには、EDIT ボタンを使用してください。

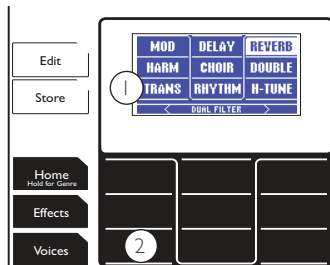
メインとアドバンス・エディット・ページ

ほとんどのエフェクトのエディット・ページは、メイン・ページと、高度な設定を行うためのアドバンス・エディット・ページで構成されます。EDIT ボタンを押すことでこれらのページを切り替えられます。

メイン・エフェクト・ページにはページ番号が割り振られています。例えば、「Transducer 7/9」は、9ページ中の7ページ目であることを示します。最初のページでは左矢印、最後のページでは右矢印が表示されません。

マトリクスを使ったエディット・パラメーターの選択

エフェクト・ページが表示されている場合、表示されているエフェクトが各マトリクス・ボタンに割り当てられています。次の例では、最終行の左端のボタンにはトランスデューサー・エフェクトが割り当てられています。



マトリクスの最終行の左端のボタン (2) にはトランスデューサー・エフェクト (1) が割り当てられています。

エフェクト・スタイルについて

エフェクト・スタイルは、多くのパラメーターを変更することなく、特定のエフェクトに対して異なるバリエーションに切り替えることを可能とします。

ほとんどのスタイルにはエディット可能なモディファイアーが用意されています（例：MOD エフェクトの SPEED）。

レベルについて

インプットとエフェクトのミックス・レベル（ボリューム）はデシベル（dB）の単位で表示されます。

- フル・レベルが 0 dB となります。
- それ以下のレベルはマイナスの値で表示されます（例：-10 dB）。
- オフは「Off」と表示されます。

この表示方法は、MIX / SETUP / VOICES を含む全てのメニューに共通です。

エフェクト・パラメーターのリンク／アンリンク

一部のエディット・パラメーターはリンクされており、選択したスタイルに合わせて設定が変更されます（例：MOD エフェクトの SPEED）。スタイルが作成された時に意図された状態でエフェクトが鳴ります。

他のパラメーター（例：REVERB WIDTH）はスタイルにリンクしていません（アンリンク状態）。WIDTH をモノラルにしたままスタイルを切り替えられます。

エフェクト・パラメーターを解説する各セクションでは、スタイルにリンクしたパラメーターは「*」と記されています。

DRY LEVEL - ドライ・レベル

このパラメーターは MOD / DELAY / REVERB / HARMONY / DOUBLE エフェクトのアドバンス・エディット・ページに用意されています。エフェクトがオンになっている際のドライ・ヴォイス・レベルを設定し、エフェクト個別にウエット／ドライ・ミックスを設定できます。複数のエフェクトがオンになっている場合、一番低い DRY LEVEL の値が適用されます。

MOD - モジュレーション・エフェクト

MOD (モジュレーション) エフェクトは、コーラス/ディチューン/フランジャー、そして特殊効果としてのピッチ・エフェクトを含みます。

MOD メイン・エディット・ページ

STYLE - スタイル・パラメーター

スタイルを選択します。

LEVEL - レベル・パラメーター

エフェクトのアウトプット・レベルをコントロールします。

SPEED - スピード・パラメーター *

選択されているスタイルがモジュレーションを使用していて DEPTH パラメーターが0以上に設定されている場合に、モジュレーションの速度を設定します。

CONTROL - コントロール・パラメーター

HIT のオン/オフの状態を設定します。詳細は、「[CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン](#)」セクションをご参照ください。

MOD アドバンス・エディット・ページ

DRY LEVEL - ドライ・レベル・パラメーター

ドライ・ヴォイスのレベルを設定します。

DEPTH - デプス・パラメーター *

モジュレーションの深さを設定します。効果を確認するには、SPEED を上げる必要が生じるかもしれません。

WIDTH - ワイズ・パラメーター

ステレオのパンニング幅を設定します。0%はモノラル、100%はフル・ステレオです。

「*」と記されたパラメーターは、選択されているスタイルにリンクしています。

DELAY - ディレイ・エフェクト

ディレイ (ディレイ) エフェクトは、タップテンポ・エコー／固定タイム・ディレイ／スラップ・エコーといったエフェクトを含みます。

DELAY メイン・エディット・ページ

STYLE - スタイル・パラメーター

スタイルを選択します。

Classic Slap (クラシック・スラップ) と Set Time (固定タイム) を除く全てのスタイルは、TAP ボタンをタップして設定するタップテンポに同期します。Classic Slap と Set Time のディレイ・タイムはタップテンポでコントロールされず、DELAY エディット・ページで設定します。

LEVEL - レベル・パラメーター

エフェクトのアウトプット・レベルをコントロールします。

FEEDBACK - フィードバック・パラメーター *

エコーの繰り返し回数を0(反復なし)から100(無限/自己発振)の範囲で設定します。

CONTROL - コントロール・パラメーター *

HIT のオン／オフの状態を設定します。詳細は、「[CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン](#)」セクションをご参照ください。

DELAY アドバンス・エディット・ページ

最後の2つのパラメーターは、選択している DELAY スタイルによって異なります。

DRY LEVEL - ドライ・レベル・パラメーター

ドライ・ヴォイスのレベルを設定します。

FILTER STYLE - フィルター・スタイル・パラメーター

エコーにフィルター処理を施すことで、エコー成分のトーンを調整します。Digital(デジタル=フィルターなし)から Lo-Fi(ローファイ)まで、様々な特性のフィルターを選択できます。

MOD TO DELAY - モジュレーション→ディレイ・パラメーター

MOD ブロックから DELAY ブロックに送られる信号の量を、Off (オフ) から 0 dB (フル信号) の範囲で指定します。

WIDTH - ワイズ・パラメーター

このパラメーターは Ping Pong (ピンポン) と MultiTap (マルチタップ) のスタイルでのみ有効です。ステレオのパンニング幅を設定します。0%はモノラル、100%はフル・ステレオです。

TEMPO - テンポ・パラメーター

このパラメーターはタップ・テンポのスタイルでのみ有効です。ディレイのテンポを BPM で指定します。GLOBAL TAP パラメーターをオフにして、プリセット単位でテンポを指定したい場合に使用します。

DIVISION - 符割 *

このパラメーターはタップ・テンポのスタイルでのみ有効です。エコー・タイムを、一小節に対する符割で指定します。

DELAY TIME - ディレイ・タイム *

このパラメーターは Slap と Set Time のスタイルでのみ有効です。ディレイ・タイムを 0 ~ 2500 ms (ミリセカンド) の範囲で指定します。

「*」と記されたパラメーターは、選択されているスタイルにリンクしています。

REVERB - リバーブ・エフェクト

REVERB (リバーブ) エフェクトには、TC エレクトロニックのリバーブ・アルゴリズムを採用しています。リバーブは、コンサートホールや小さい部屋といった空間の残響をシミュレートします。

REVERB メイン・エディット・ページ

STYLE - スタイル・パラメーター

スタイルを選択します。

LEVEL - レベル・パラメーター

エフェクトのアウトプット・レベルをコントロールします。

DECAY - ディケイ・パラメーター *

エフェクトがフェードアウトするのに要する時間を指定します。

CONTROL - コントロール・パラメーター *

HIT のオン/オフの状態を設定します。詳細は、「[CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン](#)」セクションをご参照ください。

REVERB アドバンス・エディット・ページ

DRY LEVEL - ドライ・レベル・パラメーター

ドライ・ヴォイスのレベルを設定します。

PRE DELAY - プリディレイ・パラメーター *

ドライ信号とリバーブ出力の開始点の間に短いディレイを挿入します。一般的に、大きい空間をシミュレートしたり、ドライ信号とリバーブ・エフェクトの分離を高める用途に使用されません。

WIDTH - ワイズ・パラメーター

ステレオのパンニング幅を設定します。0%はモノラル、100%はフル・ステレオです。

DELAY TO REVERB - ディレイ→リバーブ・パラメーター

DELAY ブロックから REVERB ブロックに送られる信号の量を指定します。

「*」と記されたパラメーターは、選択されているスタイルにリンクしています。

HARMONY - ハーモニー・エフェクト

TC-Helicon の代名詞とも言えるハーモニー・サウンドを生成します。音程差を与えた上限 4 つの声を重ねられます。

ハーモニーを和声的に正しく聞かせる設定方法については、クイックガイドの「ハーモニーと HardTune エフェクトの使用」セクションをご参照ください。

HARMONY メイン・エディット・ページ

STYLE - スタイル・パラメーター

お好みのスタイルを選択します。

- 「High」から「Lower Choir」までは **Naturalplay** (ナチュラルプレイ) と呼ばれる種類のスタイルです。それぞれ、ポインティングのアレンジが異なります。これらのスタイルは KEY (キー) パラメーターの設定に応じたハーモニーを生成します。詳しくは KEY パラメーターの解説をご参照ください。
- 「Lower Monks」から「Octave Down Group」までは **Shift** (シフト) と呼ばれる種類のスタイルです。KEY の設定は無視されます。
- 「Humanized」「Tight」「Male」「Female」は **Notes** (ノーツ) と呼ばれる種類のスタイルで、ハーモニーは MIDI 入力のコード情報に追随します。KEY の設定は無視されます。

LEVEL - レベル・パラメーター

エフェクトのアウトプット・レベルをコントロールします。

KEY - キー・パラメーター *

ハーモニーと HardTune エフェクトで固定のキーと検知したコードのいずれを使用するかを設定します。

- KEY パラメーターを「Auto」に設定すると、ハーモニーはギター／音楽プレイヤー／MIDI キーボード／Roomsense マイクいずれかから検知したコードに追随します。
- 「Auto」以外 (C / C# / D ... B) に設定すると入力されたコード情報は無視され、指定したキーにおけるメジャーまたはマイナー・スケールのハーモニーが生成されます。スケールの指定はアドバンス・エディット・ページで行います。ハーモニーがオフ、またはハーモニー・スタイルがコードを無視するスタイル (Shift または Notes) に設定されていても、Hardtune エフェクトには KEY パラメーターの設定が適用されます。

CONTROL - コントロール・パラメーター *

HIT のオン／オフの状態を設定します。詳細は、「[CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン](#)」セクションをご参照ください。

HARMONY アドバンス・エディット・ページ

DRY LEVEL - ドライ・レベル・パラメーター

ドライ・ヴォイスのレベルを設定します。

HUMAN STYLE - ヒューマナイズ・スタイル・パラメーター *

ヒューマナイズとは「人間味を与える」という意味を持ち、選択したスタイルによってハーモニーの音程やタイミングに異なる特性の変化が与えられます。HUMAN AMOUNTパラメーターを0以上の値に設定しないと、選択したスタイルの効果は確認できません。

VIBRATO STYLE - ビブラート・スタイル・パラメーター *

人間によるビブラートをシミュレートします。VIBRATO AMOUNTパラメーターを適度な設定にすることで、ハーモニーに音程面での特徴を与えることができます。

SCALE - スケール・パラメーター

KEYパラメーターがAuto以外の設定では、固定キーのダイアトニック・スケールでハーモニーが生成されます。ここで、スケールの種類を選択します。

メジャーとマイナーそれぞれ3種類ずつのスケールが用意されており、楽曲のコード進行とメロディの組み合わせによって使い分けられます。詳細は、「スケール音程表」セクションの表をご参照ください。

HUMAN AMOUNT - ヒューマナイズ適用量パラメーター *

ヒューマナイズの適用量を指定します。ヒューマナイズの種類を選択は、HUMAN STYLEパラメーターで行います。

VIBRATO AMOUNT - ビブラート適用量パラメーター *

ビブラートの適用量を指定します。ビブラートの種類を選択は、VIBRATO STYLEパラメーターで行います。

「*」と記されたパラメーターは、選択されているスタイルにリンクしています。

スケール音程表

次の表は、メジャーとマイナー・キー3種類ずつにおける、Cのキーでのハーモニーの音程を示します。

影付きのセルは、スケール間で音程が異なることを示します。「NC」はNo Change（変更なし）を示し、入力が前の音程からその音程に変わってもハーモニーは前のインターバルを維持します。

VOICES - ヴォイス・メニュー

VOICES (ヴォイス) ボタンを押すと、ハーモニーのボイスングを9種類の選択肢から選べるヴォイス・メニューに入ります。ヴォイスングとは、リード・ヴォイスと、VoiceLive Touch 2 が生成するハーモニー・ヴォイスの間における、既定の音程差のことを指します。VOICESメニューで、素早くハーモニーのアレンジを変えることができます。

ヴォイスングを確認するには、EFFECTSメニューのHARMONYブロックがオンになっていることを確認します。一度に最大4声を使用できます。4声がかオンになっている状態で追加のヴォイスをオンにすると、オンになっていた4声のいずれかがオフになります。

Notes ハーモニー・スタイルを選択すると、入力したMIDIノートがヴォイスングを決めます。VOICESボタンは、4声のハーモニー・ヴォイスを全てコントロールする設定を表示します。プリセットによってヴォイスングの設定は異なる場合があります、名称とインターバルはHARMONY STYLEとKEYの組み合わせによって変わります(後述の表参照)。

		入力(歌唱)音程											
		C	C#	D	E _b	E	F	F#	G	G#	A	B _b	B
MAJ1	3度上.	E	nc	F	nc	G	A	nc	B	nc	C	D	D
	5度上.	G	nc	A	nc	B	C	nc	D	nc	E	F	F
MAJ2	3度上.	E	nc	F	nc	G	A	nc	C	nc	C	D	D
	5度上.	G	nc	A	nc	C	C	nc	E	nc	E	F	F
MAJ3	3度上.	E	nc	F	nc	G	A	nc	B _b	nc	C	D	D
	5度上.	G	nc	A	nc	B _b	C	nc	D	nc	E	F	F
MIN1	3度上.	E _b	nc	F	G	nc	A _b	nc	B _b	C	nc	D	nc
	5度上.	G	nc	B _b	B _b	nc	C	nc	D	E _b	nc	F	nc
MIN2	3度上.	E _b	nc	F	G	nc	A	nc	B _b	C	nc	D	nc
	5度上.	G	nc	A	B _b	nc	C	nc	D	E _b	nc	F	nc
MIN3	3度上.	E _b	nc	F	G	nc	A _b	nc	B	C	nc	D	nc
	5度上.	G	nc	A	B _b	nc	C	nc	D	E _b	nc	F	nc

スケール音程表

VOICE EDIT - ヴォイス・エディット・ページ (1/9 ~ 9/9)

最大9つの独立したヴォイシングを指定できますが、一度に使えるのはその内の4つとなります。次のパラメーターが各ヴォイシング・ボタンに用意されています。Notes モードのスタイルでは、次の各設定は全てのNotes ハーモニー・ヴォイスに適用されます。

特定のヴォイシングをエディットするには、VOICES メニュー・ボタンをタップして、次にヴォイシング・ボタンをホールドします。

LEVEL - レベル・パラメーター

選択したヴォイシングの出力レベルを設定します。

PAN - パン・パラメーター

選択したヴォイシングのパンニング位置を設定します。

PORTA - ボルタメント・パラメーター

一つの音程から別の音程に移動する際に要する概ねの時間を指定します。通常は 30 ~ 70 ms で使用します。上限値は 200 ms です。

(NP/Scale/Shift) VOICING - ヴォイシング・パラメーター

ヴォイシングのインターバルを指定します。パラメーター名と設定レンジは、後述の表に従って変わります。

GENDER - ジェンダー・パラメーター

各ボイスの声質を調節します。0 以下の値では深く男性的になり、0 以上の値ではより女性的になります。

SMOOTH - スムーズ・パラメーター

低い設定では、歌唱の音程のふらつきがハーモニー・ヴォイスに適用される量を圧縮します。高い設定では、入力により忠実に追従します。

このパラメーターは、リード・ヴォイスとハーモニーに別の特性を与えて、ヒューマナイズ効果を高める用途に使用できます。

TRANSPOSE - トランスポーズ・パラメーター (Notes モード・スタイルのみ)

MIDI 入力のオクターブをトランスポーズします。

この表は、ハーモニー・スタイルと KEY パラメーターの値がヴォイスिंगの選択に与える影響を示します。

スタイル・レンジ	KEY パラメーター	ヴォイスिंग名称	ハーモニー・ タイプ
"High" ~ "Lower Choir"	Auto	2 Oct Dn, Oct Dn, Bass, Lower, Low, Uni, High, Higher, Oct Up	Naturalplay (NP)
"High" ~ "Lower Choir"	C ... B	-2ve, --7...--2, -1ve, -7th...2nd, Uni, 2nd...7th, +1ve, ++2...++7th, +2ve	Scale
"Lower Monks" ~ "Octave Down Group"	(無視 されます)	-24, -23 ... Uni ... +24	Shift

Naturalplay / Scale / Shift / Notes ハーモニー

Naturalplay - ナチュラルプレイ

VoiceLive Touch 2 のほとんどのファクトリー・プリセットは Naturalplay に設定されています。Naturalplay は、一番多くのコード進行やメロディに対して和声的に正しいハーモニーを生成する汎用性の高い設定だと言えます。Naturalplay は随時楽器や Roomsense マイクの音のコードチェンジに追隨して、歌われている音程に対して適切なハーモニーの音程を割り出します。

Naturalplay はギター / AUX インポート / MIDI イン / Roomsense マイクの内どのインポートがアクティブでハーモニーに使用されるべきかを自動的に検知します。一つの曲ではギター、違う曲では MIDI キーボードに移る、といった演奏スタイルでも、パラメーターの設定変更は必要ありません。複数の入力がアクティブな場合、既定の優先順位で設定が行われます。

Scale - スケール

KEY を Auto 以外に設定すると、上記のリアルタイムのコード検知は無効となり、固定のキーと、設定したスケールに応じたハーモニーが生成されます。ダイアトニックなハーモニーが生成されます。例えば E Maj2 のキー／スケールを選択した場合であれば、楽曲または楽曲内のセクションを通じてその設定に応じたハーモニーが生成されます。使用できる楽器がない場合や、固定キー／スケール方式の方が良いハーモニーが得られる場合に使用します。

歌っているスケールトーンによって、入力と生成されるハーモニー・ヴォイスの音程差は 3/4/5 セミトーンのいずれかとなります。これは、Naturalplay と比べてオクターブ内でより多くの音程変化をもたらすこととなり、リアリズムの優位性を持ちます。その反面、楽曲のコードを解析していない分、Scale ハーモニーはコード進行とメロディーに対する汎用性が Naturalplay に劣ります。Scale ハーモニーでは 5 度のヴォイスイングは極力避けて、メジャー・キーを使用する場合には Maj 2 を選択することを推奨いたします。

Shift - シフト

Shift ハーモニーは、Naturalplay と Scale ハーモニーとは異なり、インターバルは固定となります。Shift ハーモニーでは、入力の音程に関わらず、設定したインターバルが常に維持されます。

ファクトリー・プリセットでは、Shift モードはグループ・ユニゾン、オクターブ、5 度と言った設定で使用されています。VOICES メニューからこの設定を変更できます。設定レンジは、上下 1 セミトーン～2 オクターブです。

オクターブと 5 度以外のヴォイスイングはを使用することで独特なヴォイスイングや音響的效果を得られることがあります。典型的なハーモニーのサウンドを得る目的にはさほど適切ではないと言えるでしょう。

Notes - ノーツ

VoiceLive Touch 2 ファクトリー・プリセット 155 番は「MIDI Notes」という名称のプリセットになっています。このプリセットを使用するには、MIDI 端子に MIDI キーボードが接続されていることが条件となります。歌いながらキーボードを弾くと、キーボードで演奏している音程が最大 4 つハーモニーに反映されます。4 つ以上の鍵盤を押さえても、ハーモニーに反映されません。また、MIDI サステイン・ペダルとピッチベンド・メッセージを受信可能で、それぞれハーモニー・ノートのホールドとピッチベンドを行います。

CHOIR - クワイヤー（合唱団）エフェクト

クワイヤーとは合唱団を意味する単語で、CHOIR エフェクトは、本物のコーラス・パフォーマンスやレコーディングで聴かれる声のディチューン・タイミング・音のうねりと言った効果を再現します。VoiceLive Touch 2 では、この効果をリード・ヴォイスとハーモニー／ダブリング・ヴォイスに施すことができます。

CHOIR メイン・エディット・ページ

STYLE - スタイル・パラメーター

スタイルを選択します。

LEVEL - レベル・パラメーター

エフェクトのアウトプット・レベルをコントロールします。

LEAD/HARMONY BALANCE - リード／ハーモニー・バランス

リード・ヴォイスのレベルが上がっていてハーモニーまたはダブリグ・エフェクトがオンになっているプリセットでは、このパラメーターでいずれかに対する Choir エフェクトの適用量を設定できます。

CONTROL - コントロール・パラメーター *

HIT のオン／オフの状態を設定します。詳細は、「[CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン](#)」セクションをご参照ください。

このエフェクトには、アドバンス・エディット・ページはありません。

DOUBLE - ダブリング・エフェクト

ダブリングは、同じメロディを複数録音することで音に厚みを与えるレコーディングのテクニックです。VoiceLive Touch 2のダブリング・エフェクトは、リード・ヴォイスに対して微妙に音程とタイミングが異なる声を、最大4声まで重ねることができます。

DOUBLE メイン・エディット・ページ

STYLE - スタイル・パラメーター

スタイルを選択します。

LEVEL - レベル・パラメーター

エフェクトのアウトプット・レベルをコントロールします。

CONTROL - コントロール・パラメーター *

HITのオン/オフの状態を設定します。詳細は、「[CONTROLパラメーターを使ったHITエフェクトのアサイン](#)」セクションをご参照ください。

DOUBLE アドバンス・エディット・ページ

LEAD LEVEL - リード・レベル・パラメーター

ドライ・ヴォイスのレベルを設定します。

HUMAN STYLE - ヒューマニズ・スタイル・パラメーター *

ヒューマニズとは「人間味を与える」という意味を持ち、選択したスタイルによって音程やタイミングに異なる特性の変化が与えられます。HUMAN AMOUNTパラメーターを0以上の値に設定しないと、選択したスタイルの効果は確認できません。

HUMAN AMOUNT - ヒューマニズ適用量パラメーター *

ヒューマニズの適用量を指定します。ヒューマニズの種類の選択は、HUMAN STYLEパラメーターで行います。

「*」と記されたパラメーターは、選択されているスタイルにリンクしています。

TRANSDUCER - トランスデューサー・エフェクト

ディストーションと急峻なフィルターの組み合わせで、ラジオや電話等、音質を劣化させる機器のサウンドをエミュレートします。

フィードバックについて

トランスデューサー・エフェクトを使っていてマイクを PA スピーカーまたはモニターに近づけると、フィードバックが生じることがあります。トランスデューサー・スタイルはそれぞれ異なる形でフィードバックが生じやすくなっています。特定のプリセットやスタイルでフィードバックが生じる場合は、トランスデューサー・エフェクトのアウトプット・レベルを下げるか、後述の GATE THRESHOLD パラメーターを上げてみてください。

TRANSDUCER メイン・エディット・ページ

STYLE - スタイル・パラメーター

スタイルを選択します。最後のスタイル「Beatbox」はグローバルな TONE 機能を無効にして、ヒューマン・ビートボックスに適したサウンドに仕立て上げます。

DRIVE - ドライブ・パラメーター *

選択されているスタイルのディストーション量を調節します。

FILTER - フィルター・パラメーター *

選択されているスタイルのトーンを、急峻なフィルター (EQ) で調節します。スタイルによってフィルターのサウンドは異なります。

CONTROL - コントロール・パラメーター *

HIT のオン/オフの状態を設定します。詳細は、「CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン」セクションをご参照ください。

TRANSDUCER アドバンス・エディット・ページ

ROUTING - ルーティング・パラメーター

トランスデューサー・エフェクトをインサートするポイントを選択します。選択肢は次の通りです。

Output - アウトプット

リード・ヴォーカルと全てのエフェクトに対してトランスデューサー・エフェクトが施されます。

Fx-Lead - エフェクト／リード

リード・ヴォイスのエフェクト（モジュレーション／ディレイ／リバーブ／クワイヤー）に対してトランスデューサー・エフェクトが施されます。

FX-Harmony - エフェクト／ハーモニー

ハーモニー／ダブリング・ヴォイスのエフェクト（モジュレーション／ディレイ／リバーブ／クワイヤー）に対してトランスデューサー・エフェクトが施されます。

Lead - リード

リード・ヴォイスとそのエフェクトに対してトランスデューサー・エフェクトが施されます。

Harmony - ハーモニー

ハーモニー／ダブリング・ヴォイスとそのエフェクトに対してトランスデューサー・エフェクトが施されます。

LOW CUT - ローカット・パラメーター *

選択されているスタイルにローカット・フィルターを施します。ローカットとハイカットフィルターは急峻な4次フィルターを使用しています。

GATE THRESHOLD- ゲート・スレッシュホールド・パラメーター

多量のディストーションやプレゼンス・フィルターでライブ時にフィードバックが生じやすくなる対策のためのゲートです。ゲートは、インプットレベルが指定したレベルを下回った時には音を通さず、上回った時にのみ音を通します。-60 ~ -50 dBの設定では、ささやくだけでゲートが開きます。-40 ~ -30 dBといった高めの設定では、ゲートを開くにより大きい声が必要となります。

GAIN - ゲイン・パラメーター *

選択されているスタイルのアウトプット・レベルを調整します。0 dB以上の設定では極めてフィードバックが生じやすくなりますので、設定にはご注意ください。

HIGH CUT - ハイカット・パラメーター *

選択されているスタイルにハイカット・フィルターを施します。

「*」と記されたパラメーターは、選択されているスタイルにリンクしています。

RHYTHM - リズム・エフェクト

リード・ヴォイス／ハーモニー／ダブリング・ボイスに対して、タップ・テンポを活用して楽曲のリズムに合わせたスタッターやチョッピング、そしてパンニング・エフェクトを生成します。このエフェクト・ブロックは、パラメーター構成の異なる **Rhythm** (リズム) と **Stutter/Sample** (スタッター／サンプル) の二つのバリエーションで構成されています。

スタッター／サンプル・スタイルを使うには、サウンドの短い断片をキャプチャーしたいタイミングに合わせて RHYTHM ブロックをオンにする必要があります。キャプチャーが終了すると、そのサウンドが繰り返されます。

RHYTHM メイン・エディット・ページ

STYLE - スタイル・パラメーター

スタイルを選択します。「Chopper」から「Fulter Pan」まではモジュレーション・タイプのエフェクトで、その後にはスタッター／サンプル・エフェクトが続きます。

DEPTH - デプス・パラメーター

このパラメーターは *Rhythm* スタイルでのみ有効です。リズム・エフェクトの深さを設定します。

TARGET - ターゲット・パラメーター*

このパラメーターは *Rhythm* スタイルでのみ有効です。

リズム・エフェクトによる変調の対象（リード／ハーモニー／ダブリング・ヴォイス）と、リズム・エフェクトの種類（LEVEL または GENDER モジュレーション・パンニング）を指定します。

DIVISION - 符割*

このパラメーターは *Stutter/Sample* スタイルでのみ有効です。**です**。キャプチャーして繰り返すオーディオ・クリップの長さを、一小節に対する符割で指定します。

DIRECTION - 方向*

このパラメーターは *Stutter/Sample* スタイルでのみ有効です。キャプチャーして繰り返すオーディオ・クリップの再生の向きを選びます。Forward は通常の再生、Reverse はリバース再生です。

CONTROL - コントロール・パラメーター

HIT のオン／オフの状態を設定します。詳細は、「[CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン](#)」セクションをご参照ください。

RHYTHM アドバンス・エディット・ページ

DIVISION - 符割パラメーター *

このパラメーターは *Rhythm* スタイルでのみ有効です。
エフェクトの解像度を、一小節に対する符割で指定します。
TYPE パラメーターがシンコペーションとなるエディット不可のパターンに設定されていると、「N/A」(無効)と表示されます。

TYPE - タイプ・パラメーター

このパラメーターは *Rhythm* スタイルでのみ有効です。
信号に施されるリズム・モジュレーションの波形を指定します。
「Square」(矩形波)から「Sawtooth Down」(下向き三角波)といった標準的な波形、Sample and Hold (サンプルアンドホールド/ランダム)、シンコペーション・パターンの選択肢が用意されています。

SAMPLE CAPTURE - サンプル・キャプチャー・パラメーター *

このパラメーターは *Rhythm* エフェクトの *Stutter/Sample* スタイルでのみ有効です。

オーディオ・サンプリングの法則を指定します。

End - エンド・セッティング

RHYTHM エフェクト・ブロックをエンネーブルした瞬間を終点としてサンプリングを行います。

Start - スタート・セッティング

RHYTHM エフェクト・ブロックをエンネーブルした瞬間からサンプリングが始まります。

PATH - パス・パラメーター *

このパラメーターは *Stutter/Sample* スタイルでのみ有効です。
サンプルに他のエフェクト (ハーモニー/ダブリング/ Hardtune を除く全エフェクト・ブロック) がどう反映されるかを指定します。

Post - ポスト・セッティング

オーディオ・クリップがサンプルされた時点でエンネーブルされていたエフェクトがサンプルに反映されますが、さらなるエフェクトを重ねることはできません。

Pre - プリ・セッティング

エフェクトはサンプルに反映されませんが、クリップの再生時に他のエフェクトをオンザフライで施すことができます。

「*」と記されたパラメーターは、選択されているスタイルにリンクしています。

HARDTUNE - ハードチューン・エフェクト

Hardtune エフェクトは、リード・ヴォイスを強制的にターゲット・ピッチに動かします。Hardtune は、Cher や Kanye West に代表される、意図的に機械的で不自然に音程が移動する効果から、より緩やかなピッチ補正までの効果を生成できます。

ハーモニー・エフェクト同様、楽曲に合った効果を得るには、楽器からのコード情報、または固定キー／スケールの設定が必要です。KEY と SCALE パラメーターは、ハーモニー・エフェクトのメインとアドバンス・エディット・ページにございます。

HARDTUNE エフェクト・エディット・ページ STYLE - スタイル・パラメーター

お好みのスタイルを選択します。選択肢は次の通りです。

Pop - ポップ

クラシックな Hardtune エフェクトです。

Country Gliss - カントリー・グリス

音程間のピッチのスライドは補正されませんが、スケール・トーン近辺ではハードな補正が行われます。

Robot - ロボット

全ての声から音程の変化を取り除き、単一の音程にしてしまいます。この設定では、KEY の設定は無効です。

Correct Natural - ナチュラル補正

よりナチュラルな補正を行います。

Correct Chromatic - クロマチック補正

KEY と SCLAE を使わずに補正を行います。SETUP メニューの PITCH CORRECT AMOUNT と同様の働きをしますが、SETUP メニューの設定では常時補正が行われるのに対して、このスタイルを使用することで必要な時にだけピッチ補正をオンにできます。

Drone - ドローン

ハーモニー・エフェクトの KEY パラメーターを Auto に設定していると、音程が楽器のコードのルート音に補正されます。

Gender Bender - ジェンダー・ベンダー

ピッチ補正は行われませんが、ピッチシフトとジェンダーの操作が可能です。

SHIFT - シフト・パラメーター*

ピッチシフトを行います。設定レンジは ± 36 セミトーンです。

GENDER - ジェンダー・パラメーター*

マイナスの値では声が深くなり、プラスの値ではより女性的になります。

CONTROL - コントロール・パラメーター

HIT のオン／オフの状態を設定します。詳細は、「[CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン](#)」セクションをご参照ください。

「*」と記されたパラメーターは、選択されているスタイルにリンクしています。

HIT ボタンのエフェクト割り当て

HIT ボタンを押すことでエフェクトのオン／オフの状態を変え、瞬時にヴォーカル・サウンドに劇的な変化を与えることができます。複数のエフェクトの組み合わせをオン／オフする用途に使用できます。プリセットによっては、HIT のオンとオフで使用しているエフェクトの組み合わせがまったく違うことがあります。HIT をオンにした時に一つだけエフェクトが加わる、といった使い方も可能です。

HIT ボタンはエフェクトのオン／オフの組み合わせを切り替えるだけで、エフェクトのパラメーター設定を変更するものではありません。

この例は、HIT のオン／オフでどのようにプリセットの状態に変化をもたらすことが可能かを示します。



HITオフ - 1つのエフェクトのみを使用しています



HITオン - 4つのエフェクトが追加でオンになりました

エフェクト・モードにおける HIT エフェクトのアサイン

- EFFECTS ボタンをタップして、エフェクト・モードに入ります。
- HIT ボタンをタップして、LED が消えている状態にします。
- エフェクト・ボタンをタップして、HIT がオフの時に使用するエフェクトの組み合わせを指定します (例: REVERB のみ)。
- HIT ボタンをタップして、LED が点灯している状態にします。
- エフェクト・ボタンをタップして、HIT がオンの時に使用するエフェクトの組み合わせを指定します (例: REVERB と HARM)。

CONTROL パラメーターを使った HIT エフェクトのアサイン

各エフェクトには、HIT のアサインメントを指定する CONTROL パラメーターが用意されています。

- EDIT ボタンをタップして、エディット・モードに入ります。
- CONTROL パラメーターを選択して、任意の設定を行います。

Off - オフ

- HIT のオン／オフの状態に関わらず、エフェクトは常時オフになります。

On - オン

- HIT のオン／オフの状態に関わらず、エフェクトは常時オンになります。

Hit+

- HIT がオンの時にのみ、エフェクトがオンになります。

Hit-

- HIT がオフの時にのみ、エフェクトがオンになります。

スライダー FX

本チャプターでは、スライダー FX バーのヴォーカル・エフェクトの操作に関連した機能を解説いたします。ループ・エフェクトについての解説は、「[LOOP FX - ループ・エフェクト](#)」セクションをご参照ください。

CHAPTER 概要

エフェクトとループ・モードでは、スライダー FX バーでエフェクトをオンにしてモジュレーション操作を行います。選択されているメニュー（エフェクトまたはループ）によって、エフェクトは異なります。割り当てられているエフェクトがディスプレイの底に表示されます。スライダー FX バー上では、指のスライド、ドラッグドロップ、タップといったジェスチャーを使用できます。

スライダー FX バーの操作方法とエフェクトのアサイン方法は、VoiceLive Touch 2 クイックガイドの「スライダー FX バー・エフェクト」セクションをご参照ください。本 CHAPTER の各セクションでは、エフェクト・メニューでスライダー FX バーにアサインできる各エフェクトを解説します。

GENDER WARP - ジェンダー・ワープ・エフェクト

スライダー FX バーをタップすると、Hardtune エフェクトが現在のセッティングでオンになります。

スライダー FX バー上で指をスライドさせると、リード・ヴォイスの GENDER 設定が変わります。左側ではより深い声に、右側ではより女性的になります。

DELAY FEEDBACK - ディレイ・フィードバック・エフェクト

スライダー FX バーをタップすると、ディレイ・エフェクトが現在のセッティングでオンになります。

スライダー FX バー上で指をスライドさせると、エコー・エフェクトの長さを変える FEEDBACK の設定が変わります。

HARMONY HOLD - ハーモニーホールド・エフェクト

スライダー FX バーをタップすると、ハーモニー・エフェクトがオンになり、指をスライダー上に置いている間ハーモニー・ヴォイスが音を伸ばし続けるハーモニーホールド機能がオンになります。

スライダー FX バー上で指をスライドさせると、ハーモニーホールドされているヴォイスのボリュームが変わります。

DUAL FILTER - デュアル・フィルター・エフェクト

スライダー FX バーをタップすると、トランスデューサー・エフェクトが現在のセッティングでオンになります。

スライダー FX バー上で指をスライドさせると、LOW CUT と HIGH CUT の設定が変わります。

HARMONY BEND - ハーモニー・ベンド・エフェクト

スライダーFXバーをタップすると、ハーモニー・エフェクトが現在のセッティングでオンになります。

スライダーFXバー上で指をスライドさせると、ハーモニー・ヴォイスのピッチが変わります。

SHIFT WIDE - シフト・ワイド・エフェクト

スライダーFXバーをタップすると、Hardtune エフェクトが現在のセッティングでオンになります。

スライダーFXバー上で指をスライドさせると、±3 オクターブの範囲で、ピッチがセミトーン単位で変わります。Hardtune がすでにピッチシフトを行っている場合、スライダー・バーは有効ピッチ・レンジ分のバランスを取ります。

SHIFT NARROW - シフト・ナロー・エフェクト

スライダーFXバーをタップすると、Hardtune エフェクトが現在のセッティングでオンになります。

スライダーFXバー上で指をスライドさせると、±1 オクターブの範囲で、ピッチがセミトーン単位で変わります。

RHYTHM DIV - リズム分割エフェクト

スライダーFXバーをタップすると、リズム・エフェクトが現在のセッティングでオンになります。

スライダーFXバー上で指をスライドさせると、Chopper エフェクトのモジュレーション速度が変わります。

STUTTER DEPTH - スタッター・デプス・エフェクト

スライダーFXバーをタップすると、リズム・エフェクトがオンになります。

スライダーFXバー上で指をスライドさせると、エフェクトの深さが変わります。

STUTTER - スタッター・エフェクト

スライダーFXバーをタップすると、声の短い断片をサステインします。

スライダーFXバー上で指をスライドさせると、エフェクトのDIVISION（符割）設定を、初期値から上げることができます。

HMNY RHYTHM - ハーモニー・リズム・エフェクト

スライダーFXバーをタップすると、ハーモニー・ヴォイスのリズム・エフェクトがオンになります。

スライダーFXバー上で指をスライドさせると、エフェクトのDIVISION（符割）設定を変えることができます。

スライダーFXバーをホールドしている状態でも、マトリクス・ボタンで他のエフェクトをオン／オフできます。

スライダーFXバー・アクション

ここでいう「アクション」とは、スライダーFXバー上に指を置く位置と指をスライドさせる方向によって得られるエフェクトの変化のことを指します。

コントロールする内容によって、4種類のアクションが使用できます。現行エフェクトのアクションはディスプレイ底部に表示されるスライダーFX名両脇の矢印で示されます。アクションの内容は次表の通りです。

アクション	左ポジション	センター	右ポジション
< (Slider FX) >	最小値	設定レンジの中央値	最大値
> (Slider FX) >	中央値	設定レンジの $\frac{3}{4}$ の値	最小値
< (Slider FX) <	最大値	設定レンジの $\frac{3}{4}$ の値	中央値
> (Slider FX) <	指を移動する方向で最大の解像度を確保するために、初回タップ／ホールドした位置が中央値となります。		

LOOP - ループ・メニュー

VoiceLive Touch 2 レファレンス・マニュアルの本チャプターでは、ルーパーを解説いたします。

ルーピングは極めて奥の深い技法です。基本的な機能を活用するだけでも多彩な表現ができますが、レイヤー／リバーズ／ミュート／マージなどループを様々な方法で加工することができます。様々な操作を試しながら、是非自分ならではの表現を見つけ出してください。

ループ概要

観客を前にした本番から一人だけの時に自分用の伴奏を作成する用途まで、VoiceLive Touch 2のループ機能は、様々なメロディー、ハーモニー、サウンドを重ねることで、エキサイティングな表現を可能とします。

VoiceLive Touch 2のルーパーは、6つのレイヤーで構成されています。レイヤー単位で次の操作を行えます。

- ミュート
- オーバーダブ
- リバース
- クリア
- 再録音（上書き）
- トリガー再生

最初に録音したループ長がループの長さを定義します。後から重ねるループの長さや、重ねられるレイヤーの数は、初回に録音するループに依存します。

LOOP TOOLS（ループ・ツール）ページを表示させると、初回のループ録音時にループタイムの残量のカウンターが表示されます。ループ長が決まった後、各ループに加えられるオーバーダブの回数に制限はありません。

Loop Assist - ループ・アシスト

Loop Assist（ループ・アシスト）は、操作ミスを未然に防いでループを補助するための次の機能の総称です。


- メトロノーム
- RECORD / PLAY ボタン操作のクオンタイズ
- Auto Re-sync（自動再同期）機能

LOOP - ループ・メニュー・ページ

ルーパーは LAYERS (レイヤー) と TOOLS (ツール) の2つのページで構成されます。ページ番号は特段表示されません。

SELECT	(MUTE)	SHOTS
=LOOP=	LOOP 2	LOOP 3
LOOP 4	LOOP 5	LOOP 6
FILTER		

LOOP メニュー / LAYERS (レイヤー) ページ

		
ERASE	CLEAR	UNDO
MET=OFF	2x	REVERSE
FILTER		

LOOP メニュー / TOOLS (ツール) ページ

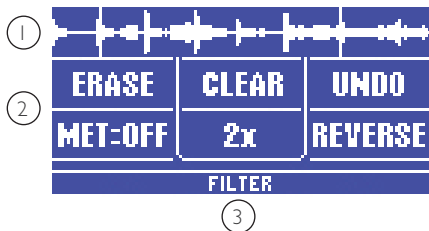
LOOP LAYERS - ループ・レイヤー・ページ

SELECT	(MUTE)	SHOTS
=LOOP=	LOOP 2	LOOP 3
LOOP 4	LOOP 5	LOOP 6
FILTER		

1. モード選択ボタン
2. ループ・レイヤー選択
3. 現行ループ・エフェクト割り当て

LOOP LAYERS ページの主要な部分は、ループの各レイヤーがアサインされている6つのスロットとなります。レイヤーの上に表示されている SELECT / MUTE / SHOTS は、特定のレイヤーに対して行う操作の種類を示します。画面底部には、割り当てられているループ・エフェクトが表示され、この例ではデフォルト設定の FILTER (フィルター) となっています。

LOOP TOOLS - ループ・ツール・ページ



1. ループ波形表示
2. ループ・ツール
3. 現行ループ・エフェクト割り当て

「SETUP メニュー」チャプターの「LOOP - ループ・ページ」「METRONOME - メトロノーム・ページ」セクションに、ループのコンフィギュレーションに関するさらなる情報が含まれます。また、外部 MIDI CC 情報でルーパーの操作を行えます。続く各セクションは、VoiceLive Touch 2 クイックガイドのチュートリアルを補足する情報が含まれています。基礎的から高度な操作の順番に解説いたします。

基本ループの作成

- HOME ボタンをタップします。
- スライダー FX バーでお好みのプリセットを選びます。
- 簡単なリズムカルなフレーズを決めます。「ブン、チャ」といったものでかまいません。
- 準備ができれば、ダウンビード（「ブン」の頭）で RECORD ボタンをタップします。
- 数回同じフレーズを数回繰り返します。回数は 2 の倍数が良いでしょう。最後に、ビートに合わせて RECORD ボタンを再度タップします。ループ・ポイントが決まり、ループの再生が始まります。

これで初回の基本ループの作成は完了です。この状態で繰り返し再生されるループを伴奏に、歌うことができます。

ループの再生と停止

- ループが録音されている場合、PLAY ボタンをタップするとループが再生/停止します。再生/停止は、次の外部機器からもコントロールできます：
 - MIC CONTROL 機能対応マイクロフォン
 - Switch-3 フットスイッチ（別売オプション）
 - 外部 MIDI デバイス詳細は、次の各セクションをご参照ください。
- MIC CONTROL パラメーター
- SWITCH-3 ページ
- MIDI インプレメンテーション

ERASE - ループのイレース（消去）

古いループを消去して一からループを作り直したい場合は、ERASE（消去）機能を使用します。操作方法は2つ用意されています。

1. HOME モードから、RECORD ボタンを約1秒ホールド（長押し）します。
この操作での消去を行う際に確認の画面は表示されず、またアンドゥもできません。
2. LOOP TOOLS ページから、ERASE のマトリクス・ボタンをタップします。確認のプロンプトが表示されますので、途中で気が変わった場合には操作をキャンセルできます。再度 ERASE をタップすると、消去が実行されます。

ループ消去についての追加情報

後述の CLEAR（クリア）とは違い、ERASE 機能はループ長を含む、ループについての全ての情報を消去します。

OVERDUB - オーバーダブ

気に入った基本ループが録音できたら、その上に音を重ねていくことができます。

オーバーダブの操作は、一つのループに対して音を重ねて録音していきます。以前録音したテイクを個別にミュートすることはできません。テイクを個別にオン／オフを行いたい場合には、別のレイヤーを使用します（「マルチトラック・ループの録音」セクションをご参照ください。）

オーバーダブの基本的な操作手順は次の通りです。

- 基本ループを録音します。
- ループの再生が始まったら、重ねたい部分を練習します。
- ループの始点に戻る一瞬前のタイミングで RECORD ボタンをタップします。
- 新しい部分を追加します。
- オーバーダブ録音モードのまま、繰り返し部分を重ねられます。
- 再度 RECORD をタップすると、オーバーダブ録音は終了し、ループ再生のみの状態に戻ります。

トランスポートが停止している状態で RECORD をタップすると録音待機状態となり、その後に PLAY で再生を始める瞬間から録音を開始できます。

オーバーダブについての追加情報

オーバーダブを繰り返しても追加でメモリーが消費されることはありませんが、音を重ねすぎると、サウンドは最終的にノイズの塊に近づいていきます。

UNDO - アンドゥ

アンドゥ可能な操作

オーバーダブの最中に間違えてしまっても、ループ全体を消去して一からやりなおす必要はありません。過去の録音内容は残したまま、直近の内容のみをアンドゥできます。

アンドゥを行った場合、直近の録音内容はすぐに消去される訳ではなく、ミュートされた状態になります。アンドゥの直後は、リドゥ（やり直し）をすることでその内容を元に戻せます。

また、次の操作はアンドゥできません。

- CLEAR (クリア) (「CLEAR - クリア」セクションを参照)
- 2x (「2x ループ拡張機能」セクションを参照)

アンドゥ／リドゥの操作手順

- 基本ループを録音してから、オーバーダブを行います。
- LOOP モード・ボタンを1回または2回タップし、LOOP TOOLS ページを表示させます。
- 直近の録音内容をアンドゥするには、UNDO をタップします。
- アンドゥしたオーバーダブの内容を復帰させるには、再度 UNDO をタップします。

アンドゥ／リドゥは繰り返して行えます。ループを一段階前後（交互）に移動しながら展開していく用途にも使用できます。

アンドゥ機能の制限事項

アンドゥ機能が有効なのは、直近の操作に対してのみです。REVERSE / MIXDOWN 機能をアンドゥすることはできません。SETUP メニューの LOOP ページでアンドゥ機能をオフにすることで、ループタイムの上限を実質的に倍にすることができます。詳細は「UNDO - アンドゥ・パラメーター」セクションをご参照ください。

2x ループ拡張機能

短めのループを作成した後に、ループを倍の長さに拡張できます。2小節のリズムパターンを作成した後に4小節のフレーズを重ねたい、といった場面で使用できます。

基本的な操作手順は次の通りです。

2x ループ拡張機能についての追加情報

ループ長を倍に拡張する度に、空メモリは減ります。長いループを作成する際にはご注意ください。

異なるループ・スロットを選択してそこに新しいループ・レイヤーを作成すると、ループの拡張は行えなくなります。

REVERSE - リバース

ループをリバース（反転）し、逆再生効果を得られます。操作はリアルタイムで行えます。

基本的な操作手順は次の通りです。

- LOOP モード・ボタンをタップします。
- LOOP LAYERS ページが表示されたら、LOOP モード・ボタンを再度タップして、LOOP TOOLS ページを表示させます。
- REVERSE ボタンをタップすると、オーバーダブを含めた、選択ループ・スロットの録音内容がリバースされます。
- 複数のループ・レイヤー（「マルチトラック・ループの録音」参照）が録音されている場合、選択されているスロットの内容のみがリバースされます。
- 再度 REVERSE ボタンをタップすると、ループが逆再生から通常の再生に戻ります。

CLEAR - クリア

クリア機能は、基本ループのスタートとエンド・ポイントを維持しながら、ループ・レイヤーをクリアします。他のループ・レイヤーを維持しながら、特定のループ・レイヤーのみを消す用途に使用できます。

クリア操作はアンドゥ可能です。

基本的な操作手順は次の通りです。

- LOOP モード・ボタンをタップします。
LOOP LAYERS ページが表示されたら、LOOP モード・ボタンを再度タップして、LOOP TOOLS ページを表示させます。
- CLEAR ボタンをタップすると、オーバーダブを含めた、選択ループ・スロットの録音内容がクリアされます。

METRONOME - メトロノーム

メトロノームは LOOP ASSIST (ループアシスト) を構成する機能の一つです。

メトロノームを使用することには次の利点があります。

- ボタンをタップした際にタイミングを一番近いビートに自動的に補正するクオンタイズ機能が有効になります。クオンタイズ機能は、より自然なルーピングを可能にします。
- ループのテンポを、タップ・テンポ/ディレイ/リズム・エフェクトと同期させることができます。
- 外部 MIDI クロックを使い、バックトラック等と同期したループを作成できます。詳細は、「[ループの MIDI クロック同期](#)」セクションをご参照ください。

メトロノームは 3 種類の設定が用意されています。

基本的な操作手順は次の通りです。

- LOOP モード・ボタンをタップします。
LOOP LAYERS ページが表示されたら、LOOP モード・ボタンを再度タップして、LOOP TOOLS ページを表示させます。
- MET: ボタンをタップするごとに、3 つの選択肢が順番に切り替わります。

OFF - メトロノーム・オフ・セッティング

メトロノームはミュートされ、クオンタイズはオフになります。

ON - メトロノーム・オン・セッティング

メトロノームが発音します。クオンタイズはオンになり、RECORD と LOOP ボタンをタップするタイミングを一番近いビートに補正します。

SHH - 無音メトロノーム・セッティング

メトロノームはミュートされますが、クオンタイズはオンになります。

この設定は、本番中に、観客にメトロノームの音を聴かせたくない場合に使います。テンポは、TAP ボタンの LED の点滅で確認できます。また、バックিং・トラックに同期させている場合は、通常メトロノームが聴こえる必要はないといえるでしょう。

メトロノームの他のパラメーター

メトロノームのボリューム調節やサウンドの選択、メトロノームをヘッドフォンでのみ発音させる方法、外部 MIDI クロックへの同期については、SETUP メニュー・チャプターの「[LOOP - ループ・ページ](#)」セクションをご参照ください。

メトロノームを使ったループの録音

- LOOP モード・ボタンを 1 または 2 回タップして、LOOP TOOLS ページを表示させます。
- MET:OFF ボタンを一回タップして、メトロノームのミュートを外します。表示は MET:ON に変わり、デフォルトのメトロノーム音（キックドラム）が聴こえるはずですが。
- TAP ボタンを数回タップして、テンポを決めます。
- メトロノームのビートに合わせて RECORD ボタンをタップして、ループの録音を開始します。
- ループ・ポイントにしたいタイミングで、メトロノームのビートに合わせて RECORD ボタンをタップします。ループの録音から再生に切り替わります。
ループの内容がそのままであれば、録音した内容を基本ループとして、オーバーダブを重ねていきます。
- MET ボタンを 1 回タップして SHH に設定するか、2 回タップして OFF に設定します。メトロノームの音は消え、その先は録音したループをビートの基準としてルーピングを続けます。

メトロノームの使用についての追加情報

ループが録音されていてメトロノームが ON または SHH の状態で再生を行うと、再生は次のビートから始まります。この場合、LOOP ボタンの LED が一時的に点滅し、再生開始の待機状態にあることを示します。

ループを録音してメトロノームを ON または SHH に設定すると、タップ・テンポを変更しようとしても「Loop Synched」(ループ同期中) と表示され、変更できません。これは、ディレイとリズム・エフェクトがループと同期するのに必要な動作です。タップ・テンポの変更を可能にするには、メトロノームをオフにします。

メトロノームを使ってループを作成した後にメトロノームをオフにしてタップ・テンポを変更すると、メトロノームとループの同期が外れ、タイミングにずれが生じます。タップ・テンポを変更した後にループとタップ・テンポを再度同期させる手順は次の通りです。

- メトロノームを OFF に設定します。
- 録音されている内容に合わせてテンポをタップします。
- テンポが正確に合わない場合は、矢印ボタンで BPM 値を合わせます (BPM 値を事前に覚えておくことが必要です)
- メトロノームを ON または SHH に設定します。
- 再生ボタンをタップします。
次のビートから再生が始まります。

マルチトラック・ループの録音

本チャプターの「OVERDUB - オーバーダブ」セクションでは、オーバーダブした内容は一つのループ内に収められると述べました。直近の録音はアンドゥできますが (「UNDO - アンドゥ」セクション参照)、アンドゥでは特定のテイクのみをミュートしたりクリアすることはできません。

VoiceLive Touch 2 のループ・レイヤー機能を使うことで、より柔軟にループを操作できます。6 つのスロットに独立したループ・レイヤーが用意されており、個別にクリア/アンドゥ/リバース等を行えます。全ループ・レイヤーは共通したループ長となります。

最初のマルチトラック・ループの録音

- まずは、基本ループを録音します。これがベース・レイヤーとなり、全マルチトラック・ループに共通したループ長を定義します。ループ長を変更するには、ループを消して再度録音し直さなければなりません (「ERASE - ループのイレイス (消去)」セクション参照)。
- LOOP モード・ボタンをタップします。LOOP TOOLS ページが表示された場合、LOOP モード・ボタンを再度タップして LOOP LAYERS ページを表示させます。

- SELECT モード・ボタンをタップすると SELECT モードに入り、「SELECT」の文字が括弧で括られて表示されます。選択ループは「=LOOP=」と表示されます。デフォルトでは、基本ループ（ベース・レイヤー）がスロット1に保存されます。この時点での表示は次の通りです。

①

(SELECT)	MUTE	SHOTS
=LOOP=	LOOP 2	LOOP 3
LOOP 4	LOOP 5	LOOP 6
FILTER		

②

1. LOOP LAYERS ページが SELECT モードにあることを示します（鍵括弧表示）
2. LOOP 1 が選択されていることを示します（「= LOOP =」）

それでは、次のループ・スロットに移って違う音を録音してみましょう。ループ・レイヤーの切り替えはトランスポートの状態に関わらず行えます。録音を続けても、一度停止させてから新たに録音を開始してもかまいません。

- LOOP 2 をタップします。
- LOOP 2 に別のパートを録音します。
- 同じ手順で、6 スロット全てに異なるパートを録音できます。SELECT モードでは、すでに録音されているレイヤーも選択できます。この場合は、選択したレイヤーに対してオーバーダブ／リバース／クリア／ミュートといった操作が行えます。

MUTE - ループ・レイヤーのミュート

MUTE (ミュート) モードでは、ループ・レイヤーを個別にミュート (一時的に無音化) できます。基本的な操作手順は次の通りです。

- 複数のループ・スロットにループ・レイヤーを録音します (「マルチトラック・ループの録音」セクション参照)。
- LOOP LAYERS ページを表示させます。
- MUTE モード・ボタンをタップすると MUTE モードに入り、「MUTE」の文字が括弧で括られて表示されます。
- ミュートしたいループ・レイヤーのボタンをタップします。
- ボタンを再度タップするとミュートが外れます。
- ミュートされているループは表示色が反転されます。

SELECT	(MUTE)	SHOTS
=LOOP=	LOOP 2	LOOP 3
LOOP 4	LOOP 5	LOOP 6
FILTER		

MUTE モード、ループ・レイヤー 2 / 4 / 6 がミュートされた状態

ループの MUTE と SELECT の併用

ミュートは、SELECT によるループ・レイヤーの選択とは独立しています。SELECT モードで LOOP 1 を選択した状態で MUTE モードに移って複数のループ・スロットをミュート/アンミュートしながら、LOOP 1 のオーバーダブを続けることができます。

ミュートされたループ・レイヤーへの録音

ミュートされた状態でも 1 つまたは全てのレイヤーを録音することができます。

SELECT モードでのループのミュート

操作は瞬時に反映されないものの、SELECT モードからループ・レイヤーをミュートすることも可能です。SELECT モードで任意のループ・スロット・ボタンをホールド (長押し) します。SELECT モードで複数のループ・レイヤーを同時にミュート/アンミュートすることはできません。

ループの MIDI クロック同期

VoiceLive Touch 2 は、USB または MIDI コネクタを経由した外部 MIDI クロック同期に対応しており、ループ機能を DAW / ドラムマシン / アレンジャー・キーボードといった MIDI デバイスに同期させることができます。MIDI クロックは MTC (MIDI タイムコード) とは異なる点にご注意ください。VoiceLive Touch 2 は MTC には未対応です。

- MIDI クロックの出力デバイスから USB または MIDI ケーブルを VoiceLive Touch 2 に接続します。
- MIDI ケーブルを使用する場合は、SETUP メニュー MIDI ページの MIDI CTRL パラメーターを MIDI に設定します。それ以外の場合は、MERGE の設定のままでもかまいません。
- 送信側のデバイスが VoiceLive Touch 2 に MIDI クロックを出力する設定になっていることをご確認ください。
- SETUP メニュー METRONOME ページの MIDI TEMPO パラメーターを SLAVE に設定します。
- LOOP TOOLS メニューで MET:ON か SHH に設定します。
- クロック・ソースの再生を開始します。
- メトロノームを使用している時と同様にループの録音と再生を行います。録音と再生ボタンを押すタイミングはクオンタイズされます。同期タイミングは、小節ではなくビートとなります。

SHOTS - ショット・モード：ループのトリガー再生

通常、ループはリズム／ハーモニー／メロディーを均一なパターンで再生させることを目的としています。SHOTS モードではループ・ボタンをタップした瞬間に再生が始まります。

- 複数のループ・スロットにループを録音します（「マルチトラック・ループの録音」セクション参照）
- 再生を続けます。
- LOOP LAYERS ページを表示させます。
- SELECT モード・ボタンをタップします。
- SHOTS モードに移った際に単体で再生させたいループを選択します。
- SHOTS モード・ボタンをタップすると SHOTS モードに入り、「SHOTS」の文字が括弧で括られて表示されます。
- 選択されているループが単体で再生されます。
- 他のループ・ボタンをタップすると、そのループ・スロットの内容が瞬時にワンショット再生されます。

SHOTS モードと再生

SHOTS モードで再生ボタンが点灯している場合、ボタンから指を離しても再生は続きます。

SHOTS モードで再生ボタンが点灯していない場合（トランスポートが停止している場合）、ボタンに指を置いている間のみループが再生されます。

複数のボタンを任意のタイミングでタップしたりホールドすることができます。作成したループを元にしたサウンド・コラージュを簡単に作ることができます。

LOOP FX - ループ・エフェクト

LOOP FX 概要

LOOP FX は、再生しているループ専用の4種類の特種エフェクトです。ループを再生させながら、これらのエフェクトを1つ選択して、スライダー FX バーで操作できます。

LOOP FX の基本的な操作手順

LOOP メニューの底部に、設定されている LOOP FX のエフェクト名が表示されます。

- ループを録音します。
- ループの再生中にスライダー FX バーを操作することで、選択されている LOOP FX をコントロールします。

LOOP FX は、再生している全ループ・レイヤーに対して施されます。

LOOP FX の変更

- LOOP FX の割り当てを変更するには、LOOP メニューをホールド（長押し）しながら矢印ボタンをタップします。指定されている LOOP FX の名称がディスプレイの底部に表示されます。
- スライダー FX バーを指で操作して、LOOP FX による音の変化を確認します。

LOOP FX 解説

FILTER - LOOP FX フィルター

スライダー FX バーをなぞるとフィルター・スイープ効果が得られるレゾナント・フィルターです。SETUP メニューの口奥ページでフィルターのレゾナンスを変更できます（「[FILTER RESONANCE - フィルター・レゾナンス・パラメーター](#)」参照）。

SLOW SPEED - LOOP FX スロー・スピード

スライダー FX バーをなぞると、ループ再生の速度が極端に減速し、同時に音質が低下します。

SQUEEZE SELECT - LOOP FX スクイズ・セレクト

ループの始点を再トリガーします。スライダー FX バーの指の位置によって、反復される断片の尺と反復の頻度が変わります。

SQUEEZE AUTO - LOOP FX オート・スクイズ

ループの任意の断片を再トリガーし、スライダー FX バーをホールドすると後に半分／1/4 の尺でその断片を再トリガーします。

LOOP FX 活用法

- SQUEEZE エフェクトは、メトロノームを使って作成されたループで最も効果的です。再トリガーされる断片は、現行タップ・テンポ（すなわちメトロノーム）に応じて分割されます。

- スライダー FX バーをホールドしたまま他のループ関連のボタン操作を行えます。SLOW SPEED エフェクトで再生速度を落とし、最低速度にした状態で停止／再生する、といった使い方ができます。また、特定のフィルター設定でホールドしたままループのミュート／アンミュートを行えます。
- LOOP FX でアクションのセッティングはありません。

RE-SYNC - 再同期

RE-SYNC (再同期) は LOOP ASSIST (ループアシスト) を構成する機能の一つです。

SLOW SPEED / SQUEEZE / SHOTS といった時間軸に変更を加えるループ・エフェクトを使用する場合、ループのタイミングがそのまま外れてしまうと具合が良くありません。これらのエフェクトを使用していても本来のビートは見失なわれずに、復帰時に自動的にビートに再同期します。この処理はバックグラウンドで自動的に行われます。

この機能は、MIDI クロック同期を行っている際に特に有効です。再同期機能は、SHOTS モードで非同期のループ再生を行った後の復帰にも役立ちます。SHOTS から SELECT モードに戻った際には、再生は以前のリズムに自動的に同期します。再同期機能は、メトロノームのオン/オフに関わらず常時有効です。

MIXDOWN - レイヤーのミックスダウン

ループ・レイヤーが足りなくなった場合、複数のループ・レイヤーを一つのスロットに統合することで空スロットを確保することができます。また、ループ全体をリバースしたり、SHOTS モードでトリガーしたい場合にも使用できます。ミックスダウン操作はアンドゥできません。

- 複数のループ・スロットにループを録音します (「マルチトラック・ループの録音」セクションを参照)。
- LOOP モード・ボタンを 1 または 2 回タップして、LOOP LAYERS ページを表示させます。
- SELECT ボタンをタップします。
- ミックスダウン先 (ターゲット) スロットのボタンをタップします。
- SELECT ボタンをホールド (長押し) します。
- SELECT ボタンをタップして、ミックスダウンを実行します。再生がオンになっている全てのループ・レイヤーがターゲット・スロットに統合され、元のレイヤーはクリアされます。ミックスダウン時にターゲット・ループ・レイヤーが再生オンになっている場合は、その内容は他のループ・レイヤーと一緒にミックスダウンされます。ミックスダウン時にターゲット・ループ・レイヤーがミュートされている場合は、既存の内容は上書きされます。

SETUP - セットアップ・メニュー

VoiceLive Touch 2 レファレンス・マニュアルの本チャプターでは、グローバルな設定を行うための SETUP メニューを解説します。

SETUP メニュー概要

SETUP メニューは、本体全体の動作に関わるファンタム電源／MIDI／グローバル・エフェクト等のパラメーターを内包しています。セットアップ・メニューのパラメーターは、プリセットの変更時にも設定は変わらないグローバルな扱いとなります。SETUP メニューに入るには、SETUP ボタンをタップします。終了するには、他のメニュー・ボタンをタップします。SETUP メニューは、機能別に 11 のページで構成されます。「INPUT 1/11」は、11 ページ中の 1 ページ目を指します。

INPUT 1/11 ▶

INPUT DYNAMIC MIC	MIC CONTROL N/A
ROOMSENSE AMBIENT	TONE STYLE NORMAL
GUITAR 10 dB	PITCH COR AMT OFF

SETUP メニューでは、設定を変更すると同時にその内容が反映され、保存されます。

INPUT - インプット・ページ

INPUT ページは、音声入力とその処理に関連する設定を含みません。

INPUT - インプット・パラメーター

ヴォーカル・エフェクトを施すインプットを指定し、ファンタム電源の設定を行います。

DYNAMIC MIC - ダイナミック・マイク

ダイナミック・マイク（非コンデンサー型）を使用する際に選択します。

CONDENSER MIC - コンデンサー・マイク

コンデンサー・マイクを使用する際に選択します。マイクにファンタム電源が供給されます。

MP-75 MIC - MP-75 マイク

TC-Helicon MP-75 マイクロフォンを使用する際に選択します。マイクにファンタム電源が供給され、MIC CONTROL 機能が有効になります。

E835fx MIC - E835fx マイク

ゼンハイザー E835fx マイクロフォンを使用する際に選択します。マイクにファンタム電源が供給され、MIC CONTROL 機能が有効になります。

USB

USB 接続したコンピューターからのオーディオ信号にエフェクトを施す際に選択します。マイクロフォンとギター・インプットは無効になります。USB オーディオの L チャンネルがヴォイス用、R チャンネルがギター用インプットとなります。

ROOMSENSE

本体内蔵の 2 つのマイクロフォンをインプットとして使用する際に選択します。この設定を使用する場合、外部の音を拾いませぬので、静かな環境でご使用ください。

HEADPHONE MIC - ヘッドフォン・マイク

携帯電話型の、マイク一体型ヘッドフォンを使用する際に選択します。次の ROOMSENSE パラメーターは HEADPHONE MIC に変わり、マイク・レベルの調節が可能になります。

ROOMSENSE パラメーター

VoiceLive Touch 2 の 2 つの内蔵マイクの音声を様々な送り先にルーティングできます。フィードバック防止の観点から、ROOMSENSE マイクで拾われた音はメイン出力には送られませぬ。

AMBIENT - アンビエント

RoomSense マイクで拾われた音はヘッドフォン出力へ送られませぬ。ヘッドフォンでモニタリングする際に、周りの音楽と観衆の音を聞くことができます。

AMBIENT/AUTO - アンビエント/オート

RoomSense マイクで拾った音をヘッドフォン出力に送るのに加え、この音声信号から自動的にハーモニーと HardTune 用のキー/スケール情報を解析します。

N/A (INPUT を Roomsense に設定時)

INPUT パラメーターを Roomsense に設定していると、Roomsense パラメーターは「n/a」(Not Available = 無効) と表示されませぬ。

GUITAR - ギター・パラメーター

ギター・インプットの感度を、ギターのレベルに合わせるキャリブレーションを行います。

このパラメーターは、ミックス・レベルのコントロールではありません。音が歪んだり、強くストラムした際に赤いクリップLEDが点灯する場合は、歪みやLEDの点灯がなくなるまでゲイン値をデフォルトの10 dBから下げてください。

MIXメニューのGUITARパラメーターをフルの状態に設定しているにも関わらずヴォーカルやエフェクトと比べてギターが静か過ぎると感じられる場合に、ここの値を上げてみてください。

MIC CONTROL パラメーター

MIC CONTROL ボタンで操作するターゲットとなる機能を指定します。

この機能を使用するには、VoiceLive Touch 2 に Mic Control 対応マイクロフォンを接続し、INPUT パラメーターを適切なセッティングに設定する必要があります。

N/A - 無効

INPUT パラメーターを Mic Control に未対応のマイクまたはインプットに設定している場合に表示されます。この場合、ターゲットの設定は行えません。

HIT

VoiceLive Touch 2 の HIT ボタンのタップと同じ操作ができます。

この設定で MIC CONTROL ボタンをホールドしても HIT ボタンのホールドと同じ操作にはなりません。

HIT + TALK - HIT + トーク

VoiceLive Touch 2 の HIT ボタンのタップと同じ操作ができます。MIC CONTROL をホールドすると TALK モードに入ります。再度タップすることで TALK モードを終了できます。

VoiceLive Play の「HIT」ボタンの On/Off が操作できます。また長押しすると「TALK (MC)」モードに入り、全てのエフェクトがバイパスされます。

HIT + TAP - HIT + タップ

VoiceLive Touch 2 の HIT ボタンのタップと同じ操作ができます。MIC CONTROL をホールドすると一時的にディレイ/リズム/メトロノーム用のタップ・テンポ指定のモードに切り替わります。このモードは、テンポの指定後に自動的に終了します。

HIT MOMENT - HIT モメンタリー

MIC CONTROL ボタンは一時的に HIT 機能をオンにします。ホールドはできません。

FAVORITES - お気に入り

MIC CONTROL ボタンで9つのお気に入り設定を順番に切り替えます。ボタンをホールドすると、進行方向が反転します。再度ボタンをホールドすると、元の方向に戻ります。

LOOP - ループ

MIC CONTROL ボタンは I ボタンのルーパーとして機能します。詳細は、「I Button Looper - I ボタン・ルーパー」セクションをご参照ください。

LOOP START/STOP - ループ開始/停止

既存のループの再生/停止のみの操作ができます。ホールド機能は行えません。

HARM + H.HOLD - ハーモニー+ハーモニーホールド

MIC CONTROL ボタンのタップ毎にハーモニー・エフェクトのオン/オフが切り替わります。ボタンのホールドは HarmonyHold 機能のコントロールに割り当てられます。

TONE STYLE - トーン・スタイル・パラメーター

TONE 機能は、声の EQ とダイナミクス特性を自動的に整えるための 4 つのシグナル・プロセッサの集合体です。

トーン機能は、こもりを減らしてヴォーカル・サウンドにブライトネスを与えながらピーク・レベルを制御し、ライブ環境におけるヴォーカル・サウンドをスタジオ・レコーディングに近づけます。ノイズゲートも用意されており、フィードバックやハーモニーのチャタリングといった歌っていない時に起こりうるトラブルの予防にも役立ちます。

これらのプロセッシングは入力に順応して特性が最適化されます。TONE 機能をオンにすると、TALK モード時を含め常時有効になります。

OFF - オフ

TONE 機能はオフになります。

NORMAL - ノーマル

多くの PA や声のタイプや PA に対応する、汎用性の高いセッティングです。このセッティングがデフォルトとなります。

LESS BRIGHT - 高域抑えめ

NORMAL に比べ、高域を少し抑え気味の EQ を施します。フィードバックが生じがちだったりコンデンサー・マイクの使用時にお試しいただけます。

NORM + WARMTH - ノーマル + ウォームス

こもりを軽減しながらもローを少し持ち上げます。ベース・レンジのヴォーカル・パートを受け持つ、または声の芯が細く感じられる場合にお試しくください。

MORE COMP - コンプ強め

強めのコンプで、より強力にレベル・ピークを制御します。

NORM NO GATE - ノーマル、ゲートなし

NORMAL からノイズゲートを除いた設定です。。

LESS BRIGHT NG - 高域抑えめ、ゲートなし

LESS BRIGHT からノイズゲートを除いた設定です。

NORM + WARMTH NG - ノーマル+ウォームス、ゲートなし

NORM + WARMTH からノイズゲートを除いた設定です。

MORE COMP NG - コンプ強め、ゲートなし

MORE COMP からノイズゲートを除いた設定です。

PITCH COR AMT - ピッチ補正適用量

声に少量のクロマチックなピッチ補正を施し、音程の安定度を改善します。スケールの指定は必要ありません。

ピッチ補正を初めて使う場合、声がダブリングされて聴こえてくる錯覚を覚えるかも知れません。これはピッチ補正によって修正された声と、自分の元の声の音程のズレにより発生する現象で、心配ありません。

ここでのピッチ補正は、声を意図的に機械的に聴かせるためのものではありません。その用途には、Hartune エフェクトをご使用ください。

TALK モードでは、ピッチ補正はオフになります。

OUTPUT - アウトプット・ページ

OUTPUT - アウトプット・パラメーター

STEREO - ステレオ

左右チャンネルの信号が 1/4" TRS ジャックから出力されます。

XLR ジャックからは左側の信号のみが出力されます。

MONO - モノラル (デフォルト設定)

TRS の L チャンネルと XLR アウトプットからは、エフェクトをモノラルにサミングした信号が出力されます。R チャンネルの TRS アウトプットからは、ヴォーカルに TONE のみが施されたエフェクトなしの信号が出力されます。ライブ時に PA エンジニアが卓側でドライ/ウェット・ミックスを調整する場合に適した設定です。この場合は、LEAD MUTE パラメーターをオンにしてください。

DUAL MONO - デュアル・モノ

TRS の L チャンネルと XLR アウトプットからは、エフェクトをモノラルにサミングした信号が出力されます。R チャンネルの TRS アウトプットからは、ギターが出力されます。この設定では、PA エンジニアはモノラルのウェット・ヴォーカルと、モノラルのギターを受け取ることになります。

VOCAL CANCEL - ヴォーカル・キャンセル機能

AUX インプットに入力されたヴォーカル+バックングトラックの音声からヴォーカルのみを減らし、擬似的なカラオケ・トラックを作成します。

LEAD MUTE - リード・ミュート・パラメーター

リードヴォーカルをミュートし、エフェクト・プロセッシングされた音声のみを出力します。外部マイクプリアンプを使用していてそこからの出力を直接 PA に送っている場合には、このパラメーターをオンにします。

HEADPHONE LIMITER - ヘッドフォン・リミッター

ヘッドフォン・リミッターは、ヘッドフォンを使用時の高レベルのピークを防ぎます。このパラメーターは、ヘッドフォン出力リミッターの作動開始ポイントを設定します。0 dB に近いほどヘッドフォン出力レベルは高くなり、マイナス方面にするほどピークは抑えられます。

LEAD DELAY - リード・ディレイ・パラメーター

LEAD DELAY は、ドライ・ヴォイスに短いディレイを施し、ハーモニーとダブリング・エフェクトによる処理遅延とタイミングを合わせます。

NONE - なし

LEAD DELAY はオフになります。

VOICE SYNC - ヴォイス・シンク

ドライ・ヴォーカルに固定時間の短いディレイが施され、レコーディング素材の処理時に、ハーモニーとダブリング・エフェクトによる処理遅延とタイミングを合わせます。ライブで使用すると、このディレイは好ましくないことがあります。

AUTO - オート

ハーモニーまたはダブリング・エフェクト・ブロックがオンの場合にのみドライ・ヴォーカルがディレイされます。

GUITAR - ギター・ページ (1)

ギター・インプットの信号用に独立したエフェクト・セクションが用意されており、リバーブ/モジュレーション/コンプレッション・エフェクトを施すことができます。エフェクトの掛かったギターの信号は、メイン TRS アウトプットから出力させることができます。

GUITAR THRU ジャックを使用する場合にはこれらのエフェクトは適用されず、エフェクトの掛かったギターの信号は自動的に VoiceLive Touch 2 のミックス・アウトプットから除かれます。

REVERB STYLE - リバーブ・スタイル・パラメーター

ヴォーカル用のリバーブと同じスタイルの選択肢が用意されています。

REVERB LEVEL - リバーブ・レベル・パラメーター

ミックス内のギター用リバーブの量を調節します。

MOD STYLE - モジュレーション・スタイル・パラメーター

ヴォーカル用の MOD エフェクト・ブロックの最初の 7 つのスタイル (「Micromod Clone」～「Mono Chorus」) と同じ選択肢が用意されています。コーラス・エフェクトや、音に厚みを与える用途に使用できます。

MOD LEVEL - モジュレーション・レベル・パラメーター

ミックス内のギター用モジュレーション・エフェクトの量を調節します。

COMPRESSOR RATIO - コンプレッサー・レシオ・パラメーター

ピークを抑えると同時に低音量の部分を持ち上げることでコンプレッションを行います。

1.0 の設定では、コンプレッサーは実質オフになります。

次の COMPRESSOR THRESHOLD パラメーターを 0 dB 以下に設定しないと、コンプレッサーは作動しません。

COMPRESSOR THRESHOLD - コンプレッサー・スレッシュールド・パラメーター

入力レベルがここで設定した値を超えるとコンプレッサーが作動し、RATIO（レシオ）コントロールで指定した量のコンプレッションが行われます。

アコースティックギターのコンプレッションについて

コンプレッサーはRATIOとTHRESHOLDの設定の組み合わせ次第で信号に大量のゲインを与えることがあり、フィードバックの原因となることがあります。アコースティックギターでフィードバックを抑えながらダイナミクスを制御するには、RATIO=2.0 / THRESHOLD=-10といった抑えめの設定の方が適していると言えるでしょう。

GUITAR - ギター・ページ (2)

VoiceLive Touch 2 は、ギター用に 3 バンドのセミパラメトリック EQ を搭載しています。

各 EQ バンドのレンジは ± 12 dB です。

HIGH FREQUENCY - ハイ周波数パラメーター

ハイ・シェルフ EQ がブーストまたはカットを行う下限の周波数を指定します。

HIGH GAIN - ハイ・ゲイン・パラメーター

ハイのブーストまたはカットの量を dB で指定します。

MID FREQUENCY - ミッド周波数パラメーター

ミッド・バンドの中心周波数を指定します。

MID GAIN - ミッド・ゲイン・パラメーター

ミッドのブーストまたはカットの量を dB で指定します。

LOW FREQUENCY - ロー周波数パラメーター

ロー・シェルフ EQ がブーストまたはカットを行う上限の周波数を指定します。

LOW GAIN - ロー・ゲイン・パラメーター

ローのブーストまたはカットの量を dB で指定します。

LOOP - ループ・ページ

LOOP ページは、ループに関連したパラメーターで構成されません。

INPUT - インプット・パラメーター

ヴォーカル／ギター／AUX の内、ルーピングに使用するインプットを指定します。

LEAD + GUITAR - ヴォーカル+ギター (デフォルト)

ヴォーカルとギター、及びそれらの信号に付加されたEQとエフェクト類がループに記録されます。AUXインの信号はループされません。

GUITAR - ギター

ギターとその信号に付加されたエフェクト類がループに記録されます。ヴォーカルとAUXインの信号はループされません。

LEAD - ヴォーカル

ヴォーカルとそヴォーカル・エフェクトがループに記録されません。ギターとAUXインの信号はループされません。

AUX

AUXインの信号のみがループに記録されます。

ALL - 全て

ヴォーカル／ギター／AUXすべての信号がループに記録されます。

FILTER RESONANCE - フィルター・レゾナンス・パラメーター

LOOP FX フィルターのミッド・フィルター周波数におけるゲインまたはアッテネーションを変更し、サウンドに変化をもたらします。

UNDO - アンドゥ・パラメーター

UNDO 操作の有効／無効を設定します。オンの設定では、直前に録音されたループをやり直しできます。オフの設定では、アンドゥ操作は無効になりますが、倍の録音時間が得られます。

LOOP FEEDBACK - ループ・フィードバック・パラメーター

多重レイヤーで構成されるループを作成する時、録音した100%の音量のままループを再生し続けると、レイヤーが増えるにつれ当然ループの音量も上がり続け、出力能力を超えた段階で歪みノイズが発生します。

このノイズ発生を防ぐために、ループ・フィードバック量を設定します。100%以下の設定では、オーバーダブの度に既存のループが設定されたフィードバック音量でミックスされます。デフォルトの設定は98%です。

MIDI CONTROL - MIDI コントロール・パラメーター

VoiceLive Touch 2 のルーパーは、MIDI CC による外部コントロールに対応しています。外部コントローラーでルーパーの操作を行わない場合にはこの設定をオフにして、不意にルーパーの操作をしてしまうのを防ぎます。

QUEUED MODE - キュー・モード・パラメーター

QUEUED MODE をオンにすると、オーバーダブの開始/停止の切り替えがループ・ポイントでのみ行われるようになります。オーバーダブを開始する前のループの途中で録音ボタンをタップしておき、実質的な待機状態にすることができます。QUEUED MODE をオフにすると、自由なタイミングでパンチ・イン/アウトが行えます。

METRONOME - メトロノーム・ページ

METRONOME ページは、ループのメトロノームに関連したパラメーターで構成されます。

ROUTING - ルーティング・パラメーター

メトロノーム音の出力先を指定します。選択肢は次の通りです。

ALL - 全て

メイン・アウトプットとヘッドフォン・アウトから出力されません。

HEADPHONE - ヘッドフォン

ヘッドフォン・アウトからのみ出力されます。観客にメトロノームの音を聴かれることなくテンポ・ベースのループを構築できます。

MIDI TEMPO - MIDI テンポ・パラメーター

VoiceLive Touch 2 のループ・メトロノームとキュー・ループ機能のテンポを外部 MIDI クロックに同期させることができます。選択肢は次の通りです。

Off - オフ

メトロノームは、タップ・テンポに同期します。

Slave - スレーブ

メトロノームは外部 MIDI クロックのビートに同期します。この設定で TAP ボタンをタップすると、「nnn:BPM (MIDI Sync)」(nnn= 数値) と表示されます。

SOUND - サウンド・パラメーター

メトロノームの音色を選択します。選択肢は Sine (サイン) / Kick Drum (キックドラム) / HiHat (ハイハット) です。

LEVEL - レベル・パラメーター

メトロノームの音量を指定します。

MIDI ページ (I)

MIDI 関連の設定は 2 つのページに分かれています。

MIDI CHANNEL - MIDIチャンネル・パラメーター

プリセットチェンジと MIDI ハーモニー・コントロールの受信チャンネルを指定します。

FILTER - フィルター・パラメーター

フィルタリング（無効化）する受信 MIDI メッセージを指定します。選択肢は次の通りです。

None - なし

フィルタリングは行われません。

PRG Change - プログラムチェンジ

MIDI プログラムチェンジ・メッセージがフィルタリングされません。

SYSEX - システムエクスクルーシブ

MIDI システムエクスクルーシブ・メッセージがフィルタリングされます。

PC+SYSEX - プログラムチェンジ+システムエクスクルーシブ

MIDI プログラムチェンジとシステムエクスクルーシブ・メッセージがフィルタリングされます。

CC CHANNEL - CC チャンネル・パラメーター

MIDI ノート情報とは別のチャンネルで CC（コントロールチェンジ）情報を受信したい場合、ここで CC 情報の受信チャンネルを指定します。

TRANSCOPE - トランスポーズ・パラメーター

MIDI NOTES モードのハーモニー・ボイスをオクターブ単位でシフトさせます。MIDI キーボードをスプリットして一部からハーモニーをコントロールしたい際に便利です。設定の単位はオクターブです。

SPLITDIR - スプリット方向パラメーター

SPLITDIR は Split Direction の略で、ハーモニー・ヴォイスをコントロールする際に SPLIT NOTE で指定した音程の上下何れの情報を使用するかを指定します。

MIDI NOTES プリセットでのみ有効です。

SPLIT NOTE - スプリット・ノート・パラメーター

キーボードのスプリット・ポイントを指定します。MIDI NOTES プリセットでのみ有効です。

MIDI ページ (2)

SYSEX ID - システムエクスクルーシブ ID パラメーター

VoiceLive Touch 2 のシステムエクスクルーシブ ID を指定します。SysEx エディターから複数台の VoiceLive Touch 2 を同じ MIDI In/Thru チェインに接続する場合、各デバイスに個別の ID を与えることにより個別にエディットすることができます。

PB RANGE - ピッチベンド・レンジ・パラメーター

MIDI ピッチベンド情報でヴォイスのピッチシフトの音程を変化させるレンジを、セミトーンで指定します。

MIDI CTRL - MIDI コントロール・パラメーター

MIDI 信号の受信に使用するポート (USB または MIDI イン) を選択します。ここで指定したポートは、MIDI キーボードと VoiceSupport ソフトウェア両方に適用されます。

Merge - マージ (デフォルト)

VoiceSupport で本体のアップデート等を行う時には USB ポートを、MIDI ノート/コントロールチェンジ/MIDI クロック情報の受信には MIDI イン端子を併用します。

MIDI

MIDI イン端子を使用し、USB ポートは無効になります。MIDI ノート及びコントロールメッセージは MIDI イン端子で受信します。MIDI ライブラリアンソフトウェアからのプリセットのインポートにも MIDI イン端子を使用します。

USB

USB コネクターを使用し、MIDI イン端子は無効になります。VoiceSupport、MIDI ノート、コントロールメッセージ全てに USB を使用します。

SWITCH-3 ページ

別売りオプションの Switch-3 3 ボタン・フットスイッチを使用することで、VoiceLive Touch 2 の一部機能をハンズフリーで操作できるようになります。フットスイッチに特定の機能をアサインすることが出来ます。

SWITCH-3 フットスイッチ割り当てのカスタマイズ手順

- Switch-3 を FOOTSWITCH コネクタに接続します。
- SWITCH-3 ページの CONTROL パラメーターを Custom に設定します。
- 任意のスイッチの割り当てを指定します。

CONTROL - コントロール・パラメーター

ファクトリー・プロファイルとしてフットスイッチの機能割り当ての組み合わせが数パターンが用意されています。ユーザーが独自に作成したプロファイルはカスタム・プロファイルと呼ばれます。ここで、使用するプロファイルを選択します。選択肢は次の通りです。

Default - デフォルト

Default の設定における各フットスイッチの割り当ては次の通りです。

- スイッチ 1 = プリセット・ダウン
- スイッチ 2 = プリセット・アップ
- スイッチ 3 = HIT & TALK

Looping - ルーピング

Looping の設定における各フットスイッチの割り当ては次の通りです。

- スイッチ 1 = ループ録音/再生
- スイッチ 2 = ループ停止/クリア
- スイッチ 3 = ループ・アンドゥ

Custom - カスタム

Switch-3 の機能割り当てをユーザー設定できます。

SWITCH 1/2/3 - スイッチ 1/2/3 パラメーター

Switch-3 の各スイッチにここで指定した機能を割り当てます。割り当てられる機能は次の通りです。

Preset Down - プリセット・ダウン

フットスイッチをタップすると、一つ前のプリセットに移動します。

Preset Down & Key - プリセット・ダウン & キー

フットスイッチをタップすると、一つ前のプリセットに移動します。フットスイッチをホールドする（踏み続ける）と、ハーモニキーのキー指定の特殊メニューに移動します。

Preset Up - プリセット・アップ

フットスイッチをタップすると、次のプリセットに移動します。

Preset Up & Tap - プリセット・アップ&タップ

フットスイッチをタップすると、次のプリセットに移動します。フットスイッチをホールドする（踏み続ける）と、一時的にタンブ・テンポ・モードに移動します。

Hit & Talk

フットスイッチをタップすると、HIT モードのオン/オフを切り替えます。フットスイッチをホールドする（踏み続ける）と、TALK モードに移動します。

Hit & Key

フットスイッチをタップすると、HIT モードのオン/オフを切り替えます。フットスイッチをホールドする（踏み続ける）と、ハーモニーのキー指定の特殊メニューに移動します。

Loop Record/Play - ループ録音/再生

フットスイッチをタップする度に、ループ録音モードとループ再生モードが切り替わります。

Loop Stop/Clear - ループ停止/クリア

フットスイッチをタップすると、ループの再生が停止します。フットスイッチをホールドする（踏み続ける）と、ループがクリアされます。

Loop Undo - ループ・アンドゥ

フットスイッチをタップする度に、ループ録音のアンドゥとリドゥが交互に行われます。

Loop Start/Stop - ループ開始/停止

ループが録音されている状態でフットスイッチをタップする度に、ループの再生と停止が交互に行われます。この設定では、録音やホールド時の機能割り当てはありません。

I Button Looper - I ボタン・ルーパー

フットスイッチ1つでルーパーの基本的な機能をコントロールします。この設定を使用することで、余った2つのフットスイッチに他の機能を割り当てることが可能になります。

- ループが録音されていない場合、フットスイッチをタップすると録音が始まります。
- 再度フットスイッチをタップするとループ長が決まり、ループの再生に切り替わります。
- ループの再生中に再度フットスイッチをタップすると、オーバーダブが始まります。
- フットスイッチをホールドすると、直近のオーバーダブがアンドゥされます。
- 再度フットスイッチをホールドすると、アンドゥしたオーバーダブがリドゥされます。
- フットスイッチを2回タップすると、停止します。

- 停止時には、音の短い断片が録音される点にご注意ください。
- フットスイッチをタップすると再生、ホールドするとループが消去されます。
- ループの消去時には、音の短い断片が再生されます。

Tap Tempo - タップ・テンポ

フットスイッチのタップでタップ・テンポを指定できます。

Mod - モジュレーション

モジュレーション・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Delay - ディレイ

ディレイ・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Delay Moment - ディレイ・モメンタリー

フットスイッチをホールドしている間だけ、ディレイが一時的にオンになります。

Reverb - リバース

リバース・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Harmony - ハーモニー

ハーモニー・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Harmony Moment - ハーモニー・モメンタリー

フットスイッチをホールドしている間だけ、ハーモニー・ボイスが一時的にオンになります。

Harmony & Key - ハーモニー・キー

フットスイッチをタップすると、ハーモニー・ボイスのオン／オフを切り替えます。フットスイッチをホールドする（踏み続ける）と、ハーモニーのキー指定の特殊メニューに移動します。

Harmony Hold - ハーモニー・ホールド

フットスイッチをタップするとハーモニー・ホールド機能がオンになり、ハーモニー・ボイスがサステインされます。

Choir - クワイヤー

クワイヤー・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Doubling - ダブリング

ダブリング・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Transducer - トランスデューサー

トランスデューサー・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Rhythm - リズム

リズム・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Hardtune

Hardtune エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Guitar Reverb - ギター・リバーブ

ギターのリバーブ・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Guitar Mod - ギター・モジュレーション

ギターのモジュレーション・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

Guitar All - ギター両エフェクト

ギターのリバーブとモジュレーション・エフェクトをオン／オフします。ホールド時の機能割り当てはありません。

SYSTEM - システム・ページ

LCD CONTRAST - LCD コントラスト・パラメーター

LCD ディスプレイのコントラストを調整します。

MIC BOOST - マイク・ブースト・パラメーター

低出力のマイクを使用しているか小さい声で歌う場合でも INPUT ノブを中央近辺の設定で使用できるように、Low と High のセッティングでは、マイク入力の信号にデジタル・ゲインが施されます。

GLOBAL KEY - グローバル・キー・パラメーター

プリセット切り替えの際にキーの設定を固定させます。

オン (デフォルト) にすると、NATURALPLAY SCALE の KEY と SCALE の設定が全プリセットに適用されます。複数の SCALE プリセットを切り替えていく際に、毎度キーを設定しなおす手間を省けます。このモードでは、STORE によるプリセットの保存を行っても KEY と SCALE の情報は保存されません。オフの設定にすると、キーとスケールはプリセット単位で設定できるようになります。

On - オン

ハーモニーのキーは固定となり、プリセットが Auto または E Major 2 等の固定キーに設定されているかに関わらず、全てのプリセットを同じキーで鳴らすことが可能になります。この場合の実際のキーは HARMONY エディット・メニューの KEY パラメーターまたは Switch-3 で指定します。

Off - オフ (デフォルト)

プリセット単位で任意のキーを保存できます。

TUNE REFERENCE - 基準ピッチ

ハーモニーと Hardtune 用の A=440 に対する基準ピッチを変更します。ピアノ等、A=440 以外の基準ピッチに調律されている楽器を使う際に調整します。

AUX IN TYPE - AUX イン・タイプ

音楽プレイヤーを AUX インに接続してバッキングトラックを再生する際に、音楽プレイヤーの信号を若干遅らせることで、バッキングトラックに対するハーモニーのコードチェンジの遅延を短縮することができます。

Live - ライブ

ディレイは与えられません。

Tracks - トラック (トラック)

入力信号に遅延が与えられます。

GLOBAL TEMPO - グローバル・テンポ・パラメーター

On - オン (デフォルト)

全てのプリセットに直近のタップ・テンポが適用されます。プリセット変更の際にもリズムとディレイ・エフェクト、そしてループ・メトロノームが同期します。ディレイ・ブロックでは、SLAP と SET TIME スタイルを使用したもののみはプリセットの設定値が適用されます。

Off - オフ

プリセットに保存されている個別のテンポ値が適用されます。

PRODUCT INFO - 製品情報

ファームウェア・バージョン、製品シリアルナンバー、製造時期が表示されます。

サポートを受ける際に、これらの情報をお伺いすることがあります。

本体の初期化

製品を出荷時の設定とプリセット時に初期化することができます。プリセットの内容を保存したい場合には、初期化を行う前に VoiceSupport を使って設定のバックアップを作成しておいてください。VoiceSupport についての詳細は、TC-Helicon ウェブサイトをご参照ください。

初期化の手順は次の通りです。

- 本体の電源をオンにします。
- ディスプレイ上に文字が表示されたら、初期化のスクリーンが表示されるまで、一番左下と左上のマトリクス・ボタンを同時にホールドします。

MIDI インプレメンテーション

VoiceLive Touch 2 の MIDI インプレメンテーション・チャートです。

パラメーター	CC番号	設定レンジ	コメント
エフェクトブロック・オン/オフ			
Harmony On/Off	110	0-63 = off, 64-127 = on	
Double On/Off	111	"	
Reverb On/Off	112	"	
MicroMod On/Off	116	"	
Delay On/Off	117	"	
Rhythm On/Off	102	"	
Transducer On/Off	103	"	
Choir On/Off	113	"	
Hardtune On/Off	108	"	
ブロック・エディット			
Mod Style	50	0-23	
Mod Level	90	0-127	
Mod Speed	18	0-127	
Mod Depth	93	0-127	
Delay Style	51	0-18	
Delay Level	62	0-127	
Delay Feedback	20	0-128	
Delay Filter	28	0-12	
Reverb Style	52	0-27	

パラメーター	CC番号	設定レンジ	コメント
Reverb Level	91	0-127	
Reverb Decay	63	0-127	
Doubling Style	53	0-11	
Doubling Level	15	0-127	
Transducer Style	55	0-8	
Transducer Gain	105	0-127	
Transducer Low Cut	41	0-127	
Transducer High Cut	57	0-127	
Choir Style	118	0-14	
Choir Level	22	0-127	
Hardtune Style	24	0-6	
Hardtune Shift	60	0-127	
Rhythm Style	115	0-14	
Rhythm Division	83	0-19	Only when style is not Stutter/Sample
Rhythm Depth	80	0-127	
Rhythm Type	104	0-22	Only when style is not Stutter/Sample
Rhythm Stutter Division	26	0-19	Only for Stutter/Sample styles
Harmony Style	56	0-19	
Harmony Level	12	0-127	

パラメーター	CC番号	設定レンジ	コメント
Harmony Key	30	0-11	0=C, 1=C#, 2=D, 3=Eb, 4=E, 5=F, 6=F#, 7=G, 8=G#, 9=A, 10=Bb, 11=B
Harmony Scale	31	0-5	0 = Maj1, 1 = Maj2, 2 = Maj3, 3 = Min1, 4 = Min2, 5 = Min3,
Voice 1 Level	46	0-127	
Voice 2 Level	17	"	
Voice 3 Level	21	"	
Voice 4 Level	25	"	
Harmony Master Gender	59	"	
Voice 1 Gender	29	"	
Voice 2 Gender	19	"	
Voice 3 Gender	23	"	
Voice 4 Gender	27	"	
Voice 1 Voicing	89	0-8 (NP styles: Key = Auto), 0-28 (NP styles: Key = C..B), 0-48 (Shift styles)	N/A for Notes styles
Voice 2 Voicing	61	"	
Voice 3 Voicing	88	"	

パラメーター	CC番号	設定レンジ	コメント
Voice 4 Voicing	3	"	
Harmony Hold	119	0-64 = Off, 65-127 = On	
Harmony Master Pan	10	0 = Left ... 127 = Right	Pans all active voices.
ルーピング			
Master Loop Control	44	0 = Play button press, 1 = Rec button Press, 2 = Stop, 3 = Undo, 6 = 2X, 10 = Clear, 26 = Erase, 27 = Reverse	
Loop Play	47	any 2 values toggle Play/Stop	
Loop Stop	48	any	
Loop Rec	49	any 2 values toggle state	
Loop Play Re-trigger	54	any	
Overdub	57	0-64 = Off, 65-127 = On	
Setup			
Tone Style	106	0-8	

パラメーター	CC番号	設定レンジ	コメント
Guitar Gain	109	0-127	
Pitch Correct On/Off	107	0-64 = Off, 65-127 = On	
Lead Mute	13	"	
Talk Mode	114	"	
Analog Out Level	7	0-127	
Aux Level	58	"	
Harmony Level	85	"	
Delay/Reverb Level	86	"	
Talk Mode + Tuner	14	0-64 = Off, 65-127 = On	
Hit On/Off	87	0-64 = Off, 65-127 = On	
非CCメッセージ			
Pitch Bend			Applied to Harmony voices only
Bank select		0-2 = presets 1-127, 1 = presets 128-256, 2 = presets 257-300	

パラメーター	CC番号	設定レンジ	コメント
Preset select		0-127	0 = preset #1, 1 = preset #2 etc. Favorites are loaded by loading associated preset.

プリセット・リスト

VoiceLive Touch 2 のファクトリー・プリセット・リストです。
本デバイスは 300 のプリセット領域を持ち、その内最初の 200 にファクトリー・プリセットが保存されています。後の 100 プリセットは空で、ユーザーが作成したプリセットを保存できません。
全てのプリセットは上書き可能です。

- | | | | |
|-----|-----------------|-----|-----------------|
| 1: | WE WILL ROK U | 24: | JAYLO ON FLOOR |
| 2: | KATY'S AWAKE | 25: | ANTE JUSTAKISS |
| 3: | CHUMBATHUMPNG | 26: | BROWN ID GIRL |
| 4: | I AM EGGMAN | 27: | ELLIE LIGHTS |
| 5: | FEELING PEAS | 28: | FRIENDS LO PLCS |
| 6: | BLUE TOWER 65 | 29: | GOOD VIBES MMRK |
| 7: | ABBA MIA | 30: | EDGE OF GAGA |
| 8: | ANOTHER BRICK | 31: | GEDDIT STARTED |
| 9: | FEELGD GORILLAS | 32: | AMERICA HORSE |
| 10: | BEST OF MY LUV | 33: | OW! CITY FLIES |
| 11: | PUMP UP VOLUME | 34: | CRAZY GNARLES |
| 12: | LAZY BRUNO | 35: | PMORE IGNORANCE |
| 13: | SABOTAGE BEASTI | 36: | ABC LOVE |
| 14: | BABY MIXALOT | 37: | WOOD STOCK |
| 15: | FLEET HYMNAL | 38: | HILLS OF BEVRLY |
| 16: | STAYING A LIVE | 39: | YOU BELONG W/ME |
| 17: | CALLING MAROON | 40: | ICE BABY |
| 18: | BKEYS TIGHTN UP | 41: | YMCA PEOPLE |
| 19: | GALAXIES OWL CT | 42: | BNL I WEEK |
| 20: | HONKY TONK WMN | 43: | I OF THE TYGER |
| 21: | MUM&SONS WINDS | 44: | LUMPY PREZ USA |
| 22: | DJ GOT US FALLN | 45: | REDNECK WMN |
| 23: | DIGITAL U DANCE | 46: | LOSE YOUR M+M |

-
- | | | | |
|-----|-----------------|-----|------------------|
| 47: | CLUB CANT HNDL | 70: | WAYNE'S MIRROR |
| 48: | BREAKEVEN | 71: | MAKING AIR SPPL |
| 49: | BLUE RHIMES | 72: | BURNNG DN HOUSE |
| 50: | CLOSER NIN | 73: | AIN'T OVER LENNY |
| 51: | TAYLOR SPARKS | 74: | METRIC ALIVE |
| 52: | MAMA SAID COOL | 75: | SOLDIER DIXIES |
| 53: | WHERE THEM GRLS | 76: | INTER GALACTIC |
| 54: | UM BRELLA RIH | 77: | BILLIE GENE |
| 55: | WITCH E. WOMAN | 78: | CAN'T TOUCH DIS |
| 56: | PB&J YOUNGSTRS | 79: | CALI HOTEL |
| 57: | BAREFOOT BLUEJN | 80: | EASY FLATTS |
| 58: | FIGHT POWER | 81: | M&M NOT AFR8D |
| 59: | TICKTOCK | 82: | CRASH TEST FEET |
| 60: | BRIT WMNIZER | 83: | ENTER METALLICA |
| 61: | DUSTIN THE WIND | 84: | BET DANCE FLOOR |
| 62: | AWOL SAIL | 85: | LIKE U WERE DNG |
| 63: | BOYS O' FALL | 86: | DIED IN ARMS 2N |
| 64: | STREET DIGGITY | 87: | WKIN ON THE SUN |
| 65: | BREAKIN' ACHY | 88: | BNL MILLION |
| 66: | ROCKY MTN WAY | 89: | DIED IN ARMS 2N |
| 67: | CAN SEE CLEARLY | 90: | LOAD ME UP MATT |
| 68: | C&COLOUR BIRD | 91: | TWICE S HARD |
| 69: | TAKE A B ROAD | 92: | MOMENT SHANIA |

-
- | | | | |
|------|-----------------|------|-----------------|
| 93: | 50 CENT CANDY | 116: | LIVING ON PRAYR |
| 94: | AS GOOD AS I WS | 117: | MOM&POP DREAMS |
| 95: | SUMMER 1969 | 118: | JUNGLE GUNS |
| 96: | B4 HE CHEATS | 119: | F LIPS YAYA SNG |
| 97: | GANGAM | 120: | I LOVE R&R |
| 98: | AMERICAN GRNDAY | 121: | NEED U NOW |
| 99: | STORY OF TAYLOR | 122: | TAINTED MARILYN |
| 100: | GENIE BOTTLE | 123: | PCAT BUTTONS |
| 101: | IN AIR 2NIGHT | 124: | HOW U REMIND |
| 102: | ELVIRA O-R BOYS | 125: | PURPLE PRINCE |
| 103: | GOOD TIME | 126: | HEART NERVE ANA |
| 104: | TALKING N SLEEP | 127: | SINK GONNA B |
| 105: | GIVE HART BREAK | 128: | CH SUPERNOVA |
| 106: | PINK MONEY | 129: | SOUNDS O SILENC |
| 107: | JB-BF | 130: | SCORPION WINDS |
| 108: | GTTA B SOMEBODY | 131: | UP WEAR W BLONG |
| 109: | JUDAS | 132: | I WANNA SHERYL |
| 110: | SURRENDER | 133: | HOLD ON CORN |
| 111: | MATERIAL GRRRL | 134: | I ALONE LIVE |
| 112: | SHOOK ALL NIGHT | 135: | UNBELIEVABLE |
| 113: | MAD MUSIC | 136: | BOBA FETT |
| 114: | SKULL DIAMONDS | 137: | JABBA |
| 115: | MJ PYT | 138: | BARI WHITE |

-
- | | |
|----------------------|----------------------|
| 139: EMJAY 2011 | 162: ROCKABILLY SLAP |
| 140: TINKER BELL | 163: LO FI ECHO |
| 141: POPEYE | 164: SHOPPING CENTER |
| 142: MALE TO FEMALE | 165: SLAP ROOM VERB |
| 143: DEEP TALKER | 166: GROUP SHOUT |
| 144: LOOP-1ST CHORD | 167: DOUBLE DOWN |
| 145: LOOP-BASS TUNED | 168: DOUBLE UP |
| 146: LOOP-BASS | 169: GORGEOUS HALL |
| 147: RHYTHM CHOP | 170: MONO SPRING VRB |
| 148: LOOP-ETHEREAL | 171: PRACTICE ROOM |
| 149: LOOP-SING SOLO | 172: NATURAL CORR |
| 150: LOOP-MEGAPHONE | 173: CLOSE UP 3RD |
| 151: LOOP-PING PONG | 174: TUNED UP + DOWN |
| 152: LOOP-LG CHOIR | 175: TWO HIGH |
| 153: LOOP-MED HARMNY | 176: RADIOHARMNYDLY |
| 154: BIG JAZZ GROUP | 177: FEMALE TO MALE |
| 155: MIDI NOTES | 178: CLOSE BELOW |
| 156: WARTIME RADIO | 179: COUNTRY GIRLS |
| 157: UNISON CHOIR | 180: POP TRIO |
| 158: CHORDS CHOIR | 181: LOWER + DOUBLE |
| 159: ECHO VERB | 182: SLAP ABOVE |
| 160: HIT DOUBLING | 183: BEACH BOYS |
| 161: STEREO GOLD DBL | 184: TUNED 2 UP |

- 185: AUTOTUNE RADIO
- 186: ROBO DELAY
- 187: MEGAPHONE
- 188: DISTORT DOWN
- 189: DISTORTED RADIO
- 190: TOTALLY ALIEN!
- 191: FLANGER
- 192: STRANGE ECHO
- 193: EFFEMINATE
- 194: STEREO ECHO
- 195: OCTAVE FLANGE
- 196: BUNCH O BASS
- 197: OL' BLUE EYES
- 198: MEDIEVAL MONKS
- 199: VALKERIE
- 200: POWER CHORD

スタイル・リスト

VoiceLive Touch 2 の各エフェクトのスタイル・リストです。

MOD スタイル

「MOD - モジュレーション・エフェクト」セクション参照

- MicroMod Clone
- MicroMod Wider
- Thicken
- Light Chorus
- Medium Chorus
- Wide Chorus
- Mono Chorus
- Fast Rotor
- Panner
- Flanger
- Flange Feedback
- Flange Negative
- Mono Flange
- Soft Flange
- Tube
- Up Tube
- Down Tube
- Down & Up Tube
- Rise And Fall
- Auto Wah

- Underwater
- Cylon Mono
- Cylon Stereo
- Alien Voiceover

DELAY スタイル

「DELAY - ディレイ・エフェクト」セクション参照

- Half
- Quarter
- Eighth
- Triplet
- Dotted 1/8
- Dotted 1/4
- 1/4 Triplet
- Sixteenth
- Ping Pong 1
- Ping Pong 2
- Ping Pong 3
- MultiTap 1
- MultiTap 2
- MultiTap 3
- MultiTap 4

- MultiTap 5
- MultiTap 6
- Classic Slap
- Set Time

REVERB スタイル

「REVERB - リバース・エフェクト」セクション参照
 ヴォイス用とギター用のリバースで、同じスタイルが用意されています。

- Smooth Plate
- Reflection Plate
- Thin Plate
- Bright Plate
- Real Plate
- Real Plate Long
- Jazz Plate
- Quick Plate
- Soft Hall
- Amsterdam Hall
- Broadway Hall
- Snappy Room
- Library

- Dark Room
- Music Club
- Studio Room
- Bouncy Room
- Cozy Corner
- Bright Chamber
- Wooden Chamber
- St. Joseph Church
- Dome Chapel
- Hockey Arena
- Museum
- Indoor Arena
- Warehouse
- Thin Spring
- Full Spring

HARMONY スタイル

「HARMONY - ハーモニー・エフェクト」セクション参照

- High
- Low
- High & Low
- High & Higher

- Low & Lower
- Higher & Lower
- Bass & High
- Gospel Choir
- Upper Choir
- Lower Choir
- Lower Monks
- Upper Monks
- +7 Semitones
- -5 Semitones
- Octave Up Group
- Octave Dwn Group
- Humanized Notes
- Tight Notes
- Male Notes
- Female Notes

DOUBLING スタイル

「DOUBLE - ダブリング・エフェクト」セクション参照

- 1 Voice Tight
- 1 Voice Loose
- 2 Voices Wide
- 4 Voices Tight
- 4 Voices Wide
- Mixed Doubles
- 4 Voices Mono
- Oct Dn Double
- Oct Up Double
- Oct Dn Group
- Oct Up Group
- Mixed Octaves

HARDTUNE スタイル

「HARDTUNE - ハードチューン・エフェクト」セクション参照

- Pop
- Country Gliss
- Robot
- Correct Natural

- Correct Chromatic
- Drone
- Gender Bender

TRANSDUCER スタイル

「TRANSDUCER - トランスデューサー・エフェクト」セクション参照

- Megaphone
- Radio
- On the Phone
- Overdrive
- Buzz Cut
- Stack
- Tweed
- Combo
- High Pass
- Beatbox

DELAY FILTER スタイル

「DELAY - ディレイ・エフェクト」セクション参照

- Digital
- Tape
- Analog
- Radio
- Megaphone
- Cell phone
- Lo-Fi
- Hi Cut 1
- Hi Cut 2
- Hi Cut 3
- Low Cut 1
- Low Cut 2
- Low Cut 3

サポート

本マニュアルをお読みになっても製品について不明な点がございましたら、次の URL から TC-Helicon のサポートまでご連絡ください。

<http://support.tc-helicon.com/home>